

科目名	一般教養Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1年生の後期ではSPIの問題集を中心に、言語分野と非言語分野の基本的な問題を解いてきました。2年生の前期は、応用的な問題にも挑戦します。また、国内外のニュースや話題を取り上げ、時事問題にも取り組みます。（講義） 更にお客様に心温まるホスピタリティーで対応できるような話し方、立振る舞い方なども学びます。自分の考えや思いを相手に上手く伝えられるよう、ディスカッションやスピーチを通して指導いたします。（演習）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と一般常識のチェックテスト 2. 一年生で頑張ったこと（作文とスピーチ） 3. 日本のホテル、海外のホテル 4. アフターコロナ時代におけるホテル業界（1） 5. アフターコロナ時代におけるホテル業界（2） 6. ディスカッション（テーマ：未定） 7. ロシアとEU 8. アジアの中の日本 9. 世界の中の日本 10. 小テスト 11. SDG'sと企業 12. AIと企業 13. 情報社会の行方 14. AIとホスピタリティー（作文とスピーチ） 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト 20 点、作文 20 点、ディスカッション 20 点、期末試験 40 点、計 100 点満点 で採点し、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から、新聞やネット上のニュースを読む習慣をつけてください。
履修に 当たっての 留意点	世界に羽ばたくホテルエを目指し、常に相手に寄り添う気持ちをもちましょう。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検・TOEIC 対策Ⅱは、場面ごとの英語表現・語彙を覚えることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストで、就職に必要とされる 700 点以上獲得を目指すことを目的とします。 授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Part1-4 提案・勧誘・承諾等の語彙と表現を学び正解を増やす 2. Reading Part5-7 時制問題への対応力をつける 3. Listening Part1-4 相手の意図を確認する表現を学ぶ 4. Reading Part5-7 時を表す副詞節における時制問題への対応力をつける 5. Listening Part1-4 会話の始まりと返答例を学び正解をふやす 6. Reading Part5-7 助動詞問題を解くコツを学ぶ 7. Listening Part1-4 ニュース関連問題への対応力をつける 8. Reading Part5-7 フレーズリーディング方法を利用して長文を読む 9. Listening Part1-4 相手に義務を伝える表現を学ぶ 10. Reading Part5-7 代名詞の役割と出題のパターンを知る 11. Listening Part1-4 理由を問う表現を学習する 12. Reading Part5-7 前置詞についての知識を増やす 13. Listening Part1-4 苦情と伝える直接表現と間接表現を学ぶ 14. Reading Part5-7 接続詞の役割と意味を学び読解力を伸ばす前置詞 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	新訂版 TOEIC L&R テストへようこそ
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする 毎回行う単語テストの結果も加味する
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検・TOEIC 対策Ⅱは、前期に引き続き、場面ごとの英語表現・語彙を覚えることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストで、以前獲得した点数より 100 点以上上の獲得を目指すことを目的とします。 授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Part1-4 道路状況を伝える際の語彙と表現を学び正解を増やす 2. Reading Part5-7 スキャニング技術を身につけて読解スピードをあげる 3. Listening Part1-4 Yes/No 疑問文への解答のコツを学ぶ 4. Reading Part5-7 関係代名詞と関係副詞について学ぶ 5. Listening Part1-4 意見を求めたり述べるときの表現を学ぶ 6. Reading Part5-7 分詞構文問題への対応力をつける 7. Listening Part1-4 意見の一致及び不一致を伝える表現を学ぶ 8. Reading Part5-7 仮定法を学び正解を増やす 9. Listening Part1-4 会議の目的や進行状況について素早く理解する力をつける 10. Reading Part5-7 スキミング技術について学び活用できるようにする 11. Listening Part1-4 模試 100 問－解答及び解説 12. Reading Part5-7 模試 100 問－解答及び解説 13. Listening Part1-4 模試 100 問－解答及び解説 14. Reading Part5-7 模試 100 問－解答及び解説 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	新訂版 TOEIC L&R テストへようこそ
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする 毎回行う単語テストの結果も加味する
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村松 和子（実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検合格及び TOEIC のスコアアップのために必要な勉強時間・方法について、それぞれの生徒に自覚させ、短期間でのスコアアップを実現するための勉強方法、また勉強時間を確保するためのコツを身に付けます。 定期的な過去問・語彙力チェックテストの実施により、生徒一人一人の弱点と強みを把握し、その都度、最適な学習方法を提案します(例：熟語習得練習・Global reading、Sight Reading の練習 etc) 英検・TOEIC を意識したテストで実力を図り、評価対象とします。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 2. Unit1 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 3. 文法チェック～動詞と時制～ 語彙力チェックテスト実施予定 4. Unit2 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 5. Unit2 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 6. 文法チェック～形容詞～ 語彙力チェックテスト実施予定 7. Unit3 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 8. Unit3 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 9. 文法チェック～5 文型～ 語彙力チェックテスト実施予定 10. Unit1～3 のおさらい 実力確認小テスト実施予定 11. 長文読解+穴埋めの解き方確認・実践 12. Unit4 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 13. Unit4 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 14. 文法チェック～目的語・補語の捉え方～ 語彙力チェックテスト実施予定 15. 前期おさらい / 前期試験内容の確認
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	テキスト内に出てくる語彙、練習問題の出来具合及び、実戦問題を意識したデモテストで実力を図り、評価対象とする。100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙力を身につけるために、自分なりの英語練習帳または本を用意するとよい。
履修に 当たっての 留意点	英和辞典を用意すること。一度出てきた単語はしっかり覚える意識を持つこと。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村松 和子（実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検合格及び TOEIC のスコアアップのために必要な勉強時間・方法について、それぞれの生徒に自覚させ、短期間でのスコアアップを実現するための勉強方法、また勉強時間を確保するためのコツを身に付けます。 定期的な過去問・語彙力チェックテストの実施により、生徒一人一人の弱点と強みを把握し、その都度、最適な学習方法を提案します(例：熟語習得練習・Global reading、Sight Reading の練習 etc) 英検・TOEIC を意識したテストで実力を図り、評価対象とします。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit5 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 2. Unit5 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 3. 文法チェック～前置詞～ 語彙力チェックテスト実施予定 4. Unit6 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 5. Unit6 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 6. 文法チェック～接続詞～ 語彙力チェックテスト実施予定 7. Unit7 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 8. Unit7 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 9. 文法チェック～関係代名詞～ 語彙力チェックテスト実施予定 10. Unit5～7 のおさらい 実力確認小テスト実施予定 11. 長文読解+穴埋めの解き方確認・実践 12. Unit8 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 13. Unit8 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 14. Unit9～12 後期テストに反映 内容確認+実践演習 15. Unit9～12 / 後期試験内容の確認
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	テキスト内に出てくる語彙、練習問題の出来具合及び、実戦問題を意識したデモテストで実力を図り、評価対象とする。100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙力を身につけるために、自分なりの英語練習帳または本を用意するとよい。
履修に 当たっての 留意点	英和辞典を用意すること。一度出てきた単語はしっかり覚える意識を持つこと。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ③（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実（実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	前期は英検 2 級取得を目標として授業を行う。特に英検一次試験に重点を置き、必要なボキャブラリーやイディオムの習得、文法事項、長文読解、リスニングを繰り返し学び、基礎知識の確実な定着を図る。また、英検の形式に慣れるため、過去問題や模擬試験を多く解いていく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、レベルチェック 2. 英文の要素（名詞、形容詞、副詞の役割など） 3. 5 文型と文の構造 4. 短文の語句空所補充問題（単語） 5. リスニング問題 6. 短文の語句空所補充問題（熟語） 7. リスニング問題 8. 短文の語句空所補充問題（文法） 9. リスニング問題 10. 長文の語句空所補充問題 11. 長文の内容一致選択問題① 12. 長文の内容一致選択問題① 13. ライティング問題① 14. ライティング問題② 15. リスニングテスト
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R TEST –New Edition- DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	授業内で実施する単語テストとリスニングテスト、期末テストの合計を 100 点とし、60 点以上で合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	次回実施するページの予習、単語テストの勉強
履修に 当たっての 留意点	毎日必ず英語に触れる機会を作ること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ③（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実（実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	後期は英検 2 級テキストの応用編に取り組むことで、さらに幅広い英語力を身につけ、より不安なく合格を目指すことができるよう対策を行う。また TOEIC L&R テストにも挑戦をするため、各パート基本的な文法、長文読解、リスニングを学び、TOEIC 独自の出題形式やボキャブラリーを理解する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. [応用] 短文の語句空所補充問題（単語） 2. [応用] 短文の語句空所補充問題（熟語） 3. [応用] 短文の語句空所補充問題（文法） 4. [応用] リスニング問題 5. [応用] 長文の語句空所補充問題 6. [応用] 長文の内容一致選択問題 7. ライティング問題 8. Unit1 Part1~4/Part5~7 時制の理解/ダブルパッセージ読解 9. Unit2 Part1~4/Part5~7 現在時制の理解/図表の読み取り 10. Unit3 Part1~4/Part5~7 完了時制の理解/広告文の読み取り 11. Unit4 Part1~4/Part5~7 仮定法の理解/図表の読み取り 12. Unit5 Part1~4/Part5~7 不定詞の理解/トリプルパッセージの読解 13. Unit6 Part1~4/Part5~7 動名詞の理解/チャットの読み取り 14. まとめ 15. リスニングテスト
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R TEST –New Edition- DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	授業内で実施する単語テストとリスニングテスト、期末テストの合計を 100 点とし、60 点以上で合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	次回実施するページの予習、単語テストの勉強
履修に 当たっての 留意点	毎日必ず英語に触れる機会を作ること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ④（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	海老原 由香梨（実務経験：英語教師として高校で約 6 年間勤務）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	本授業では就職の際に有効となる実用英語技能検定の合格や TOEIC のスコアアップを目指していく。前期は英検の問題を中心に演習を行い、重要な文法・語彙・表現を随時確認する。授業では一人一人に発言の機会を与え、主体的に問題に取り組んでもらうことで学習意欲を高めていく。また、語彙や文法の定着を目的とする小テストを実施する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 自己紹介・授業の進め方について 2. 1 日目〈基礎編〉筆記 1①（単語）・5 日目〈基礎編〉筆記 2① 3. 2 日目〈基礎編〉筆記 1②（熟語）・6 日目〈基礎編〉筆記 3① 4. 3 日目〈基礎編〉筆記 1③（文法）・7 日目〈基礎編〉筆記 3② 5. 4 日目〈基礎編〉筆記 1④（語法）・8 日目〈基礎編〉筆記 4① 6. 9 日目〈基礎編〉リスニング第 1 部・〈基礎編〉復習 7. 10 日目〈基礎編〉リスニング第 2 部・〈基礎編〉復習 8. 11 日目〈応用編〉筆記 1⑤（単語）・12 日目〈応用編〉筆記 1⑥（熟語） 9. 13 日目〈応用編〉筆記 1⑦（文法）・15 日目〈応用編〉筆記 2② 10. 14 日目〈応用編〉筆記 1⑧（語法）・16 日目〈応用編〉筆記 3③ 11. 17 日目〈応用編〉筆記 4②・18 日目〈応用編〉リスニング第 1 部② 12. 19 日目〈応用編〉リスニング第 2 部②・〈応用編〉復習 13. 20 日目 実力完成模擬テスト 14. 20 日目 実力完成模擬テスト 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	定期試験を 80 点満点、平常点を 20 点満点の計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	検定試験合格のためには日々の積み重ねが必要なため、単語学習は毎日行い、問題演習も自主的に取り組むこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に授業に参加し、不明な点は質問をすること。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	海老原 由香梨（実務経験：英語教師として高校で約 6 年間勤務）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	本授業では就職の際に有効となる実用英語技能検定の合格や TOEIC のスコアアップを目指していく。後期は TOEIC の問題を中心に演習を行い、各パートの特徴をおさえつつリスニング・リーディングの力を伸ばしていく。重要な文法・語彙・表現は随時確認をし、小テストなどで再確認をする。授業では一人一人に発言の機会を与え、主体的に問題に取り組んでもらうことで学習意欲も高めていく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 1 2. Unit 2 3. Unit 3 4. Unit 4 5. Unit 5 6. Unit 6 7. Unit 7 8. Unit 1～4 まとめ 9. Unit 5～7 まとめ 10. Unit 8 11. Unit 9 12. Unit 10 13. Unit 11 14. Unit 12 15. Unit 8～12 まとめ
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R TEST –New Edition–
成績評価方法 及び 基準	定期試験を 80 点満点、平常点を 20 点満点の計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	検定試験合格のためには日々の積み重ねが必要なため、単語学習は毎日行い、問題演習も自主的に取り組むこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に授業に参加し、不明な点は質問をすること。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ⑤（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保（実務経験：学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	土台となる文法を学び、必要な語彙力をつけながら、英検 2 級問題に取り組める基礎力を育成し、合格に必要な理解力を身につけることを目標とします。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 英検 2 級について 2. 短文の語句空所補充問題攻略／リスニング問題攻略 3. 文法問題演習／ライティング問題攻略 4. 文法問題演習／リスニング問題攻略 5. 長文問題攻略／ライティング問題攻略 6. 英検・TOEIC 試験フィードバック 7. 英検二次試験前スピーキング問題攻略／TOEIC Part1、Part5 問題演習 8. 英検二次試験前スピーキング問題演習／TOEIC Part2、Part5 問題演習 9. リスニング／スピーキング試験演習 10. リスニング／スピーキング試験演習 11. リスニングテスト／前期試験対策 12. 前期試験フィードバック 13. TOEIC Part3、6 問題演習 14. TOEIC Part4、7 問題演習 15. 前期まとめ／英検過去問題演習
使用テキスト ・教材等	DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ Welcome to the TOEIC L&R TEST -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、ポキャブラリービルディングを行うこと
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ⑤（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保（実務経験：学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	必要な語彙力をつけながら、問題の解き方を学び、その答えとなる理由を考察、英検 2 級合格から TOEIC へつながる英語力を目指します。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英検・TOEIC 試験フィードバック 2. リスニング/ライティング問題攻略 3. 英検二次試験前スピーキング問題攻略/TOEIC Part1、Part5 問題演習 4. 英検二次試験前スピーキング問題演習/TOEIC Part2、Part5 問題演習 5. 短文の語句空所補充問題攻略/文法問題演習 6. 長文問題攻略/TOEIC Part3、6 問題演習 7. 長文問題攻略/TOEIC Part4、7 問題演習 8. リスニング/ライティング問題攻略 9. リスニングテスト/後期試験対策 10. 後期試験フィードバック 11. 英検・TOEIC 試験フィードバック 12. 英検二次試験前スピーキング問題演習/TOEIC Part1、2、5 問題演習 13. 英検二次試験前スピーキング問題演習/TOEIC Part3、6、7 問題演習 14. TOEIC 総合演習 15. 一年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ Welcome to the TOEIC L&R TEST -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、ポキャブラリービルディングを行うこと
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ⑥（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	早期の英検準 2 級合格を目指す。英検準 2 級合格に必要な語彙力、文法力、読解力、リスニング力、ライティング力の習得を目標とする。単語テストを毎レッスン実施し評価対象とする。英検準 2 級合格、期末テストを評価対象とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期目標の確認及び短文の語句補充問題の指導 2. 短文の語句補充問題(単語)及び単語テスト 3. 短文の語句補充問題(熟語)及び単語テスト 4. 短文の語句補充問題(文法)及び単語テスト 5. 短文の語句補充問題(語法)及び単語テスト 6. 長文の語句空所補充問題の攻略及び単語テスト 7. 長文の内容一致選択問題の攻略及び単語テスト 8. 英作文問題の指導① 9. 英作文問題の指導② 10. リスニング問題の攻略法指導① 11. リスニング問題の攻略法指導② 12. 模擬試験実施 13. 模擬試験解説 14. 前期総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Daily 20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、単語テスト 20 点、英検合格 20 点、平常点 10 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	単語力習得のための学習を毎日実施すること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ⑥（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	早期の英検準 2 級合格を目指す。英検準 2 級合格に必要な語彙力、文法力、読解力、リスニング力、ライティング力の習得を目標とする。単語テストを毎レッスン実施し評価対象とする。英検準 2 級合格、期末テストを評価対象とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期目標の確認及び短文の語句補充問題の指導 2. 短文の語句補充問題(単語)及び単語テスト 3. 短文の語句補充問題(熟語)及び単語テスト 4. 短文の語句補充問題(文法)及び単語テスト 5. 短文の語句補充問題(語法)及び単語テスト 6. 長文の語句空所補充問題の攻略及び単語テスト 7. 長文の内容一致選択問題の攻略及び単語テスト 8. 英作文問題の指導① 9. 英作文問題の指導② 10. リスニング問題の攻略法指導① 11. リスニング問題の攻略法指導② 12. 模擬試験実施 13. 模擬試験解説 14. 後期総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Daily 20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、単語テスト 20 点、英検合格 20 点、平常点 10 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	単語力習得のための学習を毎日実施すること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ⑦（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準2級合格に必要な語彙力、読解力、Listening力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。 ・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。 ・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。 ・英語を学ぶこと、英語を理解し使えるようになることの楽しさを知るために、英語の基礎を学びます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 英検合格のために必要なこと 2. 1日目 短文の語句空所補充問題（単語） 3. 2日目 短文の語句空所補充問題（熟語） 4. 3日目 短文の語句空所補充問題（文法） 5. 4日目 会話文の語句空所補充問題 6. 5日目 長文の語句空所補充問題 7. 6日目 長文の内容一致選択問題 8. 7日目 英作文問題の攻略 9. 英検の英作文で使える表現 10. 英作文過去問 11. 8日目 リスニング第1部 12. 9日目 リスニング第2部 13. 10日目 リスニング第3部 14. リスニングでよく使われる表現 15. 模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検準2級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80点、授業参加内容・課題・小テスト等：20点 計100点満点 60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い、不合格者は再試とする。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ⑦（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。 ・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。 ・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。 ・英語を学ぶこと、英語を理解し使えるようになることの楽しさを知るために、英語の基礎を学びます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期復習テスト 2. 11 日目 短文の語句空所補充問題（単語） 3. 12 日目 短文の語句空所補充問題（熟語） 4. 13 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 5. 14 日目 会話文の語句空所補充問題 6. 15 日目 長文の語句空所補充問題 7. 16 日目 長文の内容一致選択問題 8. 17 日目 英作文問題の攻略 9. 英検の英作文で使える表現 10. 英作文過去問 11. 18 日目 リスニング第 2 部 12. 19 日目 リスニング第 3 部 13. リスニングでよく使われる表現 14. 20 日目 実力完成模擬テスト 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80 点、授業参加内容・課題・小テスト等：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い、不合格者は再試とする。

科目名	ホテル英語Ⅱ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテル内での様々な場面で必要となる英語表現を身に着けることで、ホテル予約、レストラン、フロント、客室内などで英語を使って円滑にコミュニケーションがとれるよう音読練習、発表など、実践形式でアウトプット中心に授業を行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期目標の確認及び短文の語句補充問題の指導 2. Preparation ① 3. Preparation ② 4. On the job ① 5. On the job ② 6. restrand reservations ① 7. restrand reservations ② 8. 復習 9. restaurant reception ① 10. restaurant reception ② 11. cuisine delicacy ① 12. cuisine delicacy ② 13. beverages & desserts 14. 前期総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Dining Out 2
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った箇所の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	ホテル英語Ⅱ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテル内での様々な場面で必要となる英語表現を身に着けることで、ホテル予約、レストラン、フロント、客室内などで英語を使って円滑にコミュニケーションがとれるよう音読練習、発表など、実践形式でアウトプット中心に授業を行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期目標の確認及び短文の語句補充問題の指導 2. beverages & desserts① 3. beverages & desserts② 4. 復習 5. スキット発表 6. スキット発表 7. work experience① 8. work experience② 9. specific inquiries① 10. specific inquiries② 11. bill payments① 12. bill payments② 13. スキット発表 14. 後期総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Dining Out 2
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った箇所の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	ホテル英語Ⅱ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村松 和子（実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテルでの正しく、かつ丁寧な英語表現を身に着けます。そして、いわゆる「日本語英語」にならぬよう、発音や声のトーンなどにも気を付け、実践を意識した学習を目指します。また、将来ホテルの仕事に就くためだけでなく、自分自身のプライベートやスキルアップを目指し、「国際人」として活躍できる人格を学ぶ時間も設けます。前期・後期ごとにターゲットを設け、小テスト及び本テストにて、評価していきます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1 レストランでの仕事を想定した効果的な英語表現を学習 2. Preparation 前回の学習をもとに実践練習および応用練習を行う 3. 英語による自己表現練習(スタッフトレーニング)・Unit1 習得度チェック 4. Unit2 レストランでの仕事に必要な情報について英語で学習する 5. On the Job 前回の学習をもとに実践練習および応用練習を行う 6. 英語による自己表現練習(各国のレストラン事情)・Unit2 習得度チェック 7. Unit3 レストランの予約受付方法の学習 8. Reservations 前回の学習をもとに実践練習および応用練習を行う 9. 英語による自己表現練習(スムーズな予約対応)・Unit3 習得度チェック 10. Review1 Unit1～3 のおさらい 発音・リズム等の練習を含む 11. Review1 Unit1～3 のおさらい 語彙力チェックテストを含む 12. Unit4 レストランでの受付方法、接客方法を学習 13. 誕生日やイベント日におけるスペシャルな接客方法を学習 14. Review1 Unit1～4(半分)のおさらい 実践練習および応用練習を行う 15. 前期試験内容の確認
使用テキスト ・教材等	DINING Out 2
成績評価方法 及び 基準	発表の意欲・正しい発音への意識の高さを評価対象に含む。 各授業での小テスト(30～50 点満点に設定予定)および本テスト 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	よく使うフレーズを常に練習し、さらで言えるようにするとよい。 また覚えたセンテンスや単語を記録しておくとうれしい。
履修に 当たっての 留意点	必要最低限の筆記用具以外に、英和辞典・マーカー(色は何でもよい)・ノートを持参すること。

科目名	ホテル英語Ⅱ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村松 和子（実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテルでの正しく、かつ丁寧な英語表現を身に着けます。そして、いわゆる「日本語英語」にならぬよう、発音や声のトーンなどにも気を付け、実践を意識した学習を目指します。また、将来ホテルの仕事に就くためだけでなく、自分自身のプライベートやスキルアップを目指し、「国際人」として活躍できる人格を学ぶ時間も設けます。前期・後期ごとにターゲットを設け、小テスト及び本テストにて、評価していきます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit5 各国の食文化の違いを学ぶ 2. 前回の学習をもとに実践練習および応用練習を行う 3. 英語による自己表現練習(スタッフトレーニング)・Unit5 習得度チェック 4. Unit6 飲み物・デザートサイドメニューにおける接客方法の学習 5. 前回の学習をもとに実践練習および応用練習を行う 6. 英語による自己表現練習(各国のレストラン事情)・Unit6 習得度チェック 7. Review2 これまでの復習+Unit7 問題・苦情対応 8. Problem Solving 前回の学習をもとに実践練習および応用練習を行う 9. 英語による自己表現練習(スムーズな予約対応)・Unit7 習得度チェック 10. Review1 Unit5～7 のおさらい 発音・リズム等の練習を含む 11. Unit8 支払い方法の学習(国別) 12. クレジットカードや領収書の扱い方について学習 13. Unit9 主に海外における仕事の経験値をつむ方法 14. Review1 Unit8・9 のおさらい 語彙力・発音・リズム等の練習を含む 15. 後期試験内容の確認
使用テキスト ・教材等	DINING Out 2
成績評価方法 及び 基準	発表の意欲・正しい発音への意識の高さを評価対象に含む。 各授業での小テスト(30～50 点満点に設定予定)および本テスト 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	よく使うフレーズを常に練習し、さらで言えるようにするとよい。 また覚えたセンテンスや単語を記録しておくとうれしい。
履修に 当たっての 留意点	必要最低限の筆記用具以外に、英和辞典・マーカー(色は何でもよい)・ノートを持参すること。

科目名	中国語Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	胡 麗君（実務経験：中国語の個人レッスン 10 年、通訳業務にも長年携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	近年、来日観光・ビジネスする人々が増え続け、中国語は仕事・生活中に必要性が高まりつつある。中国語ピンインの習得、簡単な文型、自己紹介、簡単なホテル会話ができるようになるまでのレベルを目指す。中国語検定 4 級を目指す。 パワーポイントを使用する。中国語を楽しく学んでほしいので、中国で有名な映画や流行的な歌など利用しながら授業を進める。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. “过”の使い方、疊詞、選択疑問文 2. 文章解読、練習問題 3. 聴解練習・ホテル用語及び会話練習 4. 比較文、二重目的語、様態補語、お金の数え方 5. 文章解読、練習問題 6. 聴解練習、ホテル用語及び会話練習 7. 文法：（過去形）動詞＋了、可能を表す動詞 8. 文章解読、練習問題 9. 中国映画及び音楽鑑賞 10. 聴解練習、ホテル用語及び会話練習 11. 動作進行、動作・状態持続 12. 文章解読、中検練習 13. 聴解練習、ホテル用語及び会話練習 14. 中検練習 15. 前期テスト
使用テキスト ・教材等	ケンタくんの中国語Ⅰ、中検準 4 級試験問題
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価。 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常用語及びホテル用語を積極的に調べること。
履修に 当たっての 留意点	授業中積極的に中国語を使って（一言でもいいので）会話すること。 授業で使用するテキストを見ながら各自で予習、復習しておくこと。

科目名	中国語Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	胡 麗君（実務経験：中国語の個人レッスン 10 年、通訳業務にも長年携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	近年、来日観光・ビジネスする人々が増え続け、中国語は仕事・生活中に必要性が高まりつつある。中国語ピンインの習得、簡単な文型、自己紹介、簡単なホテル用語ができるようになるまでのレベルを目指す。中国語検定 4 級を目指す。 パワーポイントを使用する。中国語を楽しく学んでほしいので、中国で有名な映画や流行的な歌など利用しながら授業を進める。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期復習、ホテル会話練習 2. 補語の使い方、文章解読 3. 文章解読 4. 聴解練習、練習問題 5. 自然現象を表す無主語文、文法：“一点儿，一……就、越……越” 6. 文章解読 7. 練習問題、中検練習 8. 例えの表現、禁止表現、“有点儿”、動作が同時に進行する表現 9. 文章解読 10. 聴解練習、中検練習 11. 中国映画及び音楽鑑賞 12. 総合復習 1、聴解練習 13. 総合復習 2、聴解練習 14. 総合復習 3、聴解練習 15. 後期テスト
使用テキスト ・教材等	ケンタくんの中国語Ⅰ、中検 4 級試験問題
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、定期テストなどを総合評価。 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常用語及びホテル用語を積極的に調べること。
履修に 当たっての 留意点	授業中積極的に中国語を使って（一言でもいいので）会話すること。 授業で使用するテキストを見ながら各自で予習、復習しておくこと。

科目名	フランス語Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	柚之原 貴子（実務経験：25 年間フランス語逐次通訳業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>一年間フランス語を学習した経験のある人を対象としたクラスです。フランス料理概要と、フランスの地方を学習します。講義中の指示語はフランス語が増えますが、文法などの説明は日本語で行い、テキストの学習事項をしっかりと理解できるよう努めます。レストランサービス技能検定に出題されるフランス料理関連の用語を集中的に学習し、3 級に出題されるフランス語語彙の確実な習得を目指します。（講義）</p> <p>〔到達目標〕 日常的な接客表現（あいさつ、案内、数字を用いた表現）を習得できる。 基本的な文法（平叙文、疑問文、否定文、敬語表現）を習得できる。 正しいフランス語の発音ができる。 フランス料理やワインに対する知識を深めることができる。 レストランサービス技能検定 3 級に出題されるフランス語語彙を習得できる。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語Ⅰの復習、フランスの地方概要 2. レストランのフランス語①（入店～着席）、疑問詞 Quand、Aquitaine 地理・料理 3. レストランのフランス語②（注文）、疑問詞 Qui、Poitou-Charentes 地理・料理 4. レストランのフランス語③（食事中）、疑問詞 Que、Bourgogne 地理・料理 5. レストランのフランス語④（会計～挨拶）、疑問詞 Quel、Franche-Comté 地理・料理 6. カフェのフランス語①（注文）、疑問詞 Comment、Lyonnais, Rhône-Alpes 地理・料理 7. カフェのフランス語②（飲み物）、疑問詞 Combien、Pays de la Loire 地理・料理 8. カフェのフランス語③（食事）、疑問詞 Pourquoi、疑問詞まとめ、Centre 地理・料理 9. ブーランジュリーのフランス語①、疑問詞 Où、Champagne-Ardenne 地理・料理 10. ブーランジュリーのフランス語②、Alsace 地理・料理 11. ブーランジュリーのフランス語③、Lorraine 地理・料理 12. レストランのフランス語 ロールプレイング（予約編）、Normandie 地理・料理 13. レストランのフランス語 ロールプレイング（トラブル対応編）、Bretagne 地理・料理 14. まとめ（練習問題） 15. 前期口頭試験
使用テキスト ・教材等	書き込み式フランス語 BOOK（成美堂出版）、かわいいパリ歩きのフランス語（PIE） いっそイラストフランス単語帳（小学館） 毎時レジュメを使用します。
成績評価方法 及び基準	期末試験（筆記）：80 点、授業内でのレポート・課題等：20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外に 必要な学修内容	講義の始めに、前回の授業確認テストを行う。復習を毎日 5 分行ってください。 自分の興味に合ったフランス料理、ワイン等を利用して学習意欲維持に努めてください。
履修に 当たっての 留意点	語学は耳で聞いた音、目で見た綴りを、実際に自分の声で再生することにより習得されます。授業にはフランス語圏のお客様への接客との意識で参加し、積極的に発声してください。

科目名	フランス語Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	柚之原 貴子（実務経験：25 年間フランス語逐次通訳業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期に引き続き、ホテル等を中心に日常生活で使われるフランス語表現を学びます。短く簡単なフランス語を理解でき、自分からも案内できるようになることを目的とします。講義中の指示語はフランス語が増えますが、文法などの説明は日本語で行い、テキストの学習事項をしっかりと理解できるよう努めます。後期では、特にロールプレイングでの会話練習に力を注ぎ、実際の場面でも使えるコミュニケーション能力のさらなる発展を目指します。（講義）</p> <p>〔到達目標〕簡単な接客表現（あいさつ、案内、数字を用いた表現）を習得できる。 基本的な文法（平叙文、疑問文、否定文、敬語表現）を習得できる。 正しいフランス語の発音ができる。 フランス料理やワインに対する知識を深めることができる。 フランス語検定 5 級に出題される文法、語彙を習得できる。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホテルのフランス語①（基本フレーズ・用語）、Midi-Pyrénées 地理・料理、復習・冠詞 2. ホテルのフランス語②（チェックイン）、Languedoc-Roussillon 地理・料理、復習・活用 3. ホテルのフランス語③（入室）、Provence-Alpes-Côte d'Azur 地理・料理、復習・構文 4. ホテルのフランス語④（コンシェルジュ）、Corse 地理・料理、復習・疑問文 5. ホテルのフランス語⑤（滞在中、ホテル内）、Auvergne 地理・料理、復習・語彙 6. ホテルのフランス語⑥（クレーム対応）、Limousin 地理・料理、復習・前置詞と形容詞 7. ホテルのフランス語⑦（滞在中、浴室）、Nord 地理・料理、長文読解練習 8. まとめ（練習問題） 9. ホテルのフランス語⑧（通信環境）、Picardie 地理・料理、聞き取り・疑問文 10. ホテルのフランス語⑨（チェックアウト）、Ile-de-France 地理・料理、聞き取り・数字 11. ホテルのフランス語⑩（トラブル対応）、フランスの地方まとめ、聞き取り・日常会話 12. ホテルのフランス語 ロールプレイング（フロント編）①、聞き取り・名詞の性と数 13. ホテルのフランス語 ロールプレイング（フロント編）②、復習・総合 14. まとめ（練習問題） 15. 後期口頭試験
使用テキスト ・教材等	かわいいパリ歩きのフランス語（PIE）、いっそイラストフランス単語帳（小学館） 毎時レジュメを使用します。
成績評価方法 及び基準	期末試験（筆記）：80 点、授業内でのレポート・課題等：20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	講義の始めに、前回の授業確認テストを行う。復習を毎日 5 分行ってください。 自分の興味に合ったフランス料理、ワイン等を利用して学習意欲維持に努めてください。
履修に 当たっての 留意点	語学は耳で聞いた音、目で見たとおりを、実際に自分の声で再生することにより習得されます。授業にはフランス語圏のお客様への接客との意識で参加し、積極的に発声してください。

科目名	料飲実務Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 翼（実務経験：名古屋マリオットアソシアホテル料飲部にて5年携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	国際ホテル科2年生として、 ホテルレストランサービスの魅力を理解させる。 料飲部に携わる者としてのホスピタリティマインドを養う。 知識力や技術力をより専門的な部分まで理解させる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1年生で学んだサービスの復習 1 2. 1年生で学んだサービスの復習 2 3. 1年生で学んだサービスの復習 3 4. 飲料概論 1 5. 飲料概論 2 6. 飲料概論 3 7. HRS 試験対策 1 8. HRS 試験対策 2 9. HRS 試験対策 3 10. HRS 試験対策 4 11. HRS 試験対策 5 12. 確認テスト 13. HRS 試験対策 6 14. HRS 試験対策 7 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	西洋料理料飲接客サービス技法 （一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会 監修）
成績評価方法 及び 基準	筆記試験、6割以上の点数で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	実技の授業の為、復習の時間が必要。
履修に 当たっての 留意点	就職先での即戦力を目指し、指導致します。

科目名	料飲実務Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 翼（実務経験：名古屋マリオットアソシアホテル料飲部にて5年携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	国際ホテル科2年生として、 ホテルレストランサービスの魅力を理解させる。 料飲部に携わる者としてのホスピタリティマインドを養う。 知識力や技術力をより専門的な部分まで理解させる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. HRS 試験対策 1 3. HRS 試験対策 2 4. HRS 試験対策 3 5. フルーツカット 1 6. フルーツカット 2 7. フルーツカット 3 8. フルーツカット 4 9. クレープシュゼット 1 10. クレープシュゼット 2 11. クレープシュゼット 3 12. 卒業制作に向けて 1 13. 卒業制作に向けて 2 14. 卒業制作に向けて 3 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	西洋料理料飲接客サービス技法 （一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会 監修）
成績評価方法 及び 基準	筆記試験、6割以上の点数で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	実技の授業の為、復習の時間が必要。
履修に 当たっての 留意点	就職先での即戦力を目指し、指導致します。

科目名	面接対策Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 翼（実務経験：名古屋マリオットアソシアホテル料飲部にて5年携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>希望する業界へ就職するために面接力を磨く。</p> <p>授業を通しホテルエのマインド（ホスピタリティ・ウエルカム感）を身に付ける。</p> <p>自己分析にて長所・短所を自覚し今後の自己成長へと繋げる。</p> <p>感じの良い話し方・接し方を学び業界人としてのスキルアップを計る。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 面接練習その⑩ 2. 面接練習その⑪ 3. 面接練習その⑫ 4. 面接練習その⑬ 5. 内定先プレゼンテーション① 6. 内定先プレゼンテーション② 7. 内定先プレゼンテーション③ 8. 内定先プレゼンテーション④ 9. 内定先プレゼンテーション⑤ 10. 就職ヒストリー作成その① 11. 就職ヒストリー作成その② 12. 就職ヒストリー作成その③ 13. 就職ヒストリー作成その④ 14. 就職ヒストリー作成その⑤ 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	「就職ヒストリー」昨年度卒業生版
成績評価方法 及び 基準	各自の「就職ヒストリー」にて評価する（7月初回授業に提出）
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後に個別面接指導を実施
履修に 当たっての 留意点	

科目名	ブライダル実務（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテル業界にとって経済面で大変重要な役割を担うブライダルを、ホテル業界を目指す学生に、サービス実務を通し深い関心と知識を持たせることを目的とする。 受付から挙式施行までを実務で学び（実習）、立ち居振る舞い・心のあり方などホテルマンとしての意識を高めることを配慮している。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 人前結婚式① 2 人前式② 3 ういろう売り① 4 ういろう売り② 5 アナウンス① 6 アナウンス② 7 入場～ウェディングステップ① 8 入場～ウェディングステップ② 9 ベールアップ（キャプテン、アナウンス）① 10 ベールアップ（キャプテン、アナウンス）② 11 ベールアップ（キャプテン、アナウンス）③ 12 結婚証明書（キャプテン、アナウンス）① 13 結婚証明書（キャプテン、アナウンス）② 14 結婚証明書（キャプテン、アナウンス）③ 15 グループ発表
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活の中で、ホテル・ブライダル共通のおもてなしの心、常に相手を思う精神を意識させる。
履修に 当たっての 留意点	結婚式を、実技を通して学び、一生に一度のセレモニーをどう表現し、ホテルスタッフとしてどう働くことが大切かを考えさせる。

科目名	ブライダル実務（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>ホテル業界にとって経済面で大変重要な役割を担うブライダルを、ホテル業界を目指す学生に、サービス実務を通し深い関心と知識を持たせることを目的とする。</p> <p>受付から挙式施行までを実務で学び（実習）、立ち居振る舞い・心のあり方などホテルマンとしての意識を高めることを配慮している。（演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 前期確認 2 指輪交換（キャプテン、アナウンス）① 3 指輪交換（キャプテン、アナウンス）② 4 指輪交換（キャプテン、アナウンス）③ 5 退場（キャプテン、アナウンス）① 6 退場（キャプテン、アナウンス）② 7 退場（キャプテン、アナウンス）③ 8 入場～退場 練習 9 練習 10 練習 11 練習 12 練習 13 練習 14 練習 15 発表
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活の中で、ホテル・ブライダル共通のおもてなしの心、常に相手を思う精神を意識させる。
履修に 当たっての 留意点	結婚式を、実技を通して学び、一生に一度のセレモニーをどう表現し、ホテルスタッフとしてどう働くことが大切かを考えさせる。

科目名	HRS 試験対策（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 翼（実務経験：名古屋マリオットアソシアホテル料飲部にて5年携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の国家資格取得を目指す。 資格取得のみならず、料飲部に携わる者としてのホスピタリティマインドを養う。 知識や技術をより専門的な部分まで理解させる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食材・飲料等の基礎知識 2. 西洋料理に使用される主な食材 3. 一般的な西洋料理調理法 4. 飲料の種類および特徴 5. メニュー 西洋料理の食事用具・備品 6. 接客の基本 7. 宴会とレストランサービスの違い 8. 確認テスト 9. 食文化について 10. 施設管理について 11. 苦情対応と遺失物の取り扱い 12. 食品衛生及び公衆衛生 13. 安全衛生について 14. 確認テスト 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	西洋料理料飲接客サービス技法 （一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会 監修）
成績評価方法 及び 基準	筆記試験、6割以上の点数で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	その日に学んだ単元の復習をすること。小テストを繰り返し解くこと。
履修に 当たっての 留意点	合格率 100%を目標とし、学習に励むこと。

科目名	接客マナー（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。マナー講師として企業、病院、官公庁にて研修を行う）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なマナーを身につけることにより、相手に好感と信頼感を与える社会人を目指します。 ・ 日本独自のホスピタリティ「おもてなし」を学び、お客様対応に相応しい接客力を身につけます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. おもてなしとは 2. マナーの基本（第一印象・身だしなみ） 3. マナーの基本（あいさつ・お辞儀） 4. マナーの基本（立ち居振る舞い） 5. マナーの基本（敬語） 6. マナーの基本（相手を気遣う言葉遣い・クッション言葉・依頼形） 7. 接客の基本 8. 電話対応 9. ビジネス文書のマナー 10. ユニバーサルおもてなし（様々な障がい者の方への気遣い） 11. 組織内のおもてなし（上司、先輩とのおつきあい） 12. 組織内のおもてなし（報連相） 13. フォーマルなおつきあいの基本知識 14. プロトコール 15. 異文化理解
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	マナーやおもてなしは、授業を受けただけで身につくものではないので、学んだことが自然にできるように、日々の生活の中で意識するように心掛ける。
履修に 当たっての 留意点	なぜマナーが必要かを理解し、形だけでなく心を込めて行えるように心掛ける。

科目名	バンケット実務Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	西村 英次（実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて勤務（現在に至る））
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテルにおける宴会部の役割を理解させる。 また、宴会サービスとレストランサービスの違いを学びとらせ、 レストランサービス技能検定 3 級試験の実技試験対策にも繋げる。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宴会部門の概要 1 2. 宴会部門の概要 2 3. 会場設営について 4. 会場設営について（婚礼・一般宴会） 5. 会場設営について（展示会・各種ショー・会議） 6. テーブルの種類 7. 着席のテーブルプラン 8. 立食のテーブルプラン 9. 料理のサービス 10. 飲料のサービス 11. ボトルサービス 12. ポットサービス、サーバーの使用方法 13. ホテルでの会議・セミナーの需要 14. 展示会の種類 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	宴会実務の基礎（一般財団法人 日本ホテル教育センター）
成績評価方法 及び 基準	実技試験にて、6 割以上の点数で合格。授業内で実施。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自での復習。 可能であれば、インターンシップやアルバイトにて実際にホテルで経験を積むと イメージが付きやすい。
履修に 当たっての 留意点	グループ毎での実習とするため、チームワークの大切さも学び取らせる。

科目名	バンケット実務Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	西村 英次（実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて勤務（現在に至る））
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテルにおける宴会部の役割を理解させる。 宴会サービスとレストランサービスの違いを学び取らせる。 実際の実技についての理解を深めさせ、現場での即戦力となるべく力量を身につけさせる。（演習）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. 宴会サービスとレストランサービスの違い 3. サービストレーニング① 4. サービストレーニング② 5. サービストレーニング③ 6. サービストレーニング④ 7. サービストレーニング⑤ 8. サービストレーニング⑥ 9. サービストレーニング⑦ 10. サービストレーニング⑧ 11. サービストレーニング⑨ 12. サービストレーニング⑩ 13. サービストレーニング⑪ 14. サービストレーニング⑫ 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	宴会実務の基礎（一般財団法人 日本ホテル教育センター）
成績評価方法 及び 基準	授業内で実施。 実技試験にて、6割以上の点数で合格。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自での復習。 可能であれば、インターンシップやアルバイトにて実際にホテルで経験を積むとイメージが付きやすい。
履修に 当たっての 留意点	グループ毎での実習とするため、チームワークの大切さも学び取らせる。

科目名	ホテルマネジメント（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊藤 崇史 （実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて 24 年間 管理業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテル運営において、サービス実務と共に重要な要素であるマネジメントの意識向上に重点を置きます。観光業、ホテルが社会的に担っている役割を理解し、また、ホテルのサービス業務のそれぞれの意義について知識や興味を深めることで、ホテルに関わる「収入」・「費用」・「利益」への考察力を高めていきます。 授業は、講義形式とグループワークにより進めていき、個人またはグループによるプレゼンテーションの機会を持ちます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 第三次産業における宿泊産業の位置づけ 3. 環境変化とホテル業の役割 4. ホテル業の意義と地域開発 5. ホテルが抱える課題 6. ホテル業の今後の動向・将来性 7. ホテルが抱える課題と今後の動向 8. ホテルの経営・事業資源 9. ホテルの経営形態と事業計画 10. ホテルの組織と人事 11. ホテルの職務分類と職掌 12. 人事・労務管理上の課題 13. 財務会計と管理会計 14. ホテルの収入と費用 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	ホテルマネジメント（一般財団法人 日本ホテル教育センター）
成績評価方法 及び 基準	期末試験 100 点満点中、60 点以上で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新聞やニュースなどの情報ソースから、「観光」「ホテル」といったワードに気を配り、小さなことにも興味を持ち、自分なりの分析をするよう努めてください。
履修に 当たっての 留意点	係数管理など、これまで関わらない内容もあるかもしれませんが、苦手意識を持つことが無いよう、わからないことはその日に解決しましょう。

科目名	ホテルマネジメント（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊藤 崇史 （実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて 24 年間 管理業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテル運営において、サービス実務と共に重要な要素であるマネジメントの意識向上に重点を置きます。観光業、ホテルが社会的に担っている役割を理解し、また、ホテルのサービス業務のそれぞれの意義について知識や興味を深めることで、ホテルに関わる「収入」・「費用」・「利益」への考察力を高めていきます。 授業は、講義形式とグループワークにより進めていき、個人またはグループによるプレゼンテーションの機会を持ちます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商品の品質管理 2. 顧客管理と顧客の組織化 3. 商品企画と広告宣伝 4. 販売促進 5. 売掛金の管理 6. テナント管理 7. 仕入管理・施設管理 8. 防災・事故管理・防犯管理 9. 食中毒・安全衛生・コンプライン処理 10. 後期まとめ 11. 地域観光産業について考察① 12. 地域観光産業について考察② 13. 理想のホテル像について考察① 14. 理想のホテル像について考察② 15. ホテルマネジメントの今後の課題
使用テキスト ・教材等	ホテルマネジメント（一般財団法人 日本ホテル教育センター）
成績評価方法 及び 基準	期末試験 100 点満点中、60 点以上で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新聞やニュースなどの情報ソースから、「観光」「ホテル」といったワードに気を配り、小さなことにも興味を持ち、自分なりの分析をするよう努めてください。
履修に 当たっての 留意点	係数管理など、これまで関わらない内容もあるかもしれませんが、苦手意識を持つことが無いよう、わからないことはその日に解決しましょう。

科目名	バーテンダー実習Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	日比野 雄大 （実務経験：岐阜グランドホテル・バーやながせにて 27 年バー業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテル等の接客業、料飲サービス業界への就職を目指す学生たちに幅広い飲料知識やカクテル作製、調整技術の習得をしてもらうとともに、接客態度やサービスの基本姿勢を身につけてもらうことを目的とする。授業の方法としては、テキストによる講義やバーツールを使った実技講習を履修してもらい、前期、後期ごとに与えた課題カクテルをクラスにて発表会等で作製してもらい、評価シートに基づいて評価する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 酒類の基礎知識 2. 醸造酒概論①ワイン 3. 醸造酒概論②ビール 4. 醸造酒概論③日本酒等 5. 蒸留酒概論①ウイスキー、ブランデー 6. 蒸留酒概論②ジン、ウォッカ、ラム、テキーラ等 7. 混成酒概論リキュール 8. ソフトドリンクの概要 9. 副材料の基礎知識 10. バーツールとグラスの基礎知識 11. カクテル学（カクテルとは） 12. カクテルの調合①ビルド 13. カクテルの調合②シェイク 14. カクテルの調合③ステア 15. 前期のまとめ（前期授業の振り返り）
使用テキスト ・教材等	HBA オフィシャルバーテンダーズブック
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価（カクテル作製）作品点数 50 点、技術点 30 点、作製動作 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から意識して酒類の書籍等を読んだりして自己研鑽に励むこと。 常に人前ではホテルマンとしての所作を意識すること。
履修に 当たっての 留意点	技術講習では常に接客態度を意識して臨むこと。 質疑応答は積極的に質問すること。

科目名	バーテンダー実習Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	日比野 雄大 （実務経験：岐阜グランドホテル・バーやながせにて 27 年バー業務に携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテル等の接客業、料飲サービス業界への就職を目指す学生たちに幅広い飲料知識やカクテル作製、調整技術の習得をしてもらうとともに、接客態度やサービスの基本姿勢を身につけてもらうことを目的とする。授業の方法としては、テキストによる講義やバーツールを使った実技講習を履修してもらい、前期、後期ごとに与えた課題カクテルをクラスにて発表会等で作製してもらい、評価シートに基づいて評価する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. デコレーションの研究 2. カクテルスタイルの研究① 3. カクテルスタイルの研究② 4. カクテル調整技術の掘り下げ① 5. カクテル調整技術の掘り下げ② 6. カクテル調整技術の掘り下げ③ 7. スタンダードカクテルのレシピ習得①ビルド 8. スタンダードカクテルのレシピ習得②シェイク 9. スタンダードカクテルのレシピ習得③ステア 10. オリジナルカクテルのレシピ考察① 11. オリジナルカクテルのレシピ考察② 12. オリジナルカクテルの創作① 13. オリジナルカクテルの創作② 14. 学生によるカクテル発表会 15. 1年のまとめ（1年の授業内容の総括）
使用テキスト ・教材等	HBA オフィシャルバーテンダーズブック
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価（カクテル作製）作品点数 50 点、技術点 30 点、作製動作 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から意識して酒類の書籍等を読んだりして自己研鑽に励むこと。 常に人前ではホテルマンとしての所作を意識すること。
履修に 当たっての 留意点	技術講習では常に接客態度を意識して臨むこと。 質疑応答は積極的に質問すること。

科目名	総合演習（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 翼（実務経験：名古屋マリオットアソシアホテル料飲部にて5年携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	総合的な学習を通し、人間力を高めていく。 学校行事の準備の時間やグループワーク（テーマを毎回変える）をもとに、 お互いの価値観を共有する。 卒業制作にて今までお世話になった方々への感謝の気持ちを伝える場として レストランオペレーションを披露する。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームとは 2. 残り1年の学校の過ごし方 3. グループワーク 1 4. グループワーク 2 5. グループワーク 3 6. ワイン講座 1 7. ホテル業界セミナー概要 8. ホテル業界セミナーの準備 1 9. ホテル業界セミナーの準備 2 10. ホテル業界セミナーの準備 3 11. ワイン講座 2 12. ワイン講座 3 13. レクリエーション企画 1 14. レクリエーション企画 2 15. レクリエーション企画 3
使用テキスト ・教材等	特になし
成績評価方法 及び 基準	定期テストにおいて、6割以上の点数で合格。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃の学校生活において、起きる出来事についての関心意欲を持つこと。
履修に 当たっての 留意点	クラス全員が揃う貴重な時間となる為、集中して取り組ませること。

科目名	総合演習（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 翼（実務経験：名古屋マリオットアソシアホテル料飲部にて5年携わる）
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	総合的な学習を通し、人間力を高めていく。 学校行事の準備の時間やグループワークを通して、 卒業制作にて今までお世話になった方々への感謝の気持ちを伝える場として レストランオペレーションを披露する。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. 学校祭準備 1 3. 学校祭準備 2 4. 学校祭準備 3 5. 学校祭準備 4 6. レストランサービス講習 1 7. レストランサービス講習 2 8. レストランサービス講習 3 9. 卒業制作準備 1 10. 卒業制作準備 2 11. 卒業制作準備 3 12. 卒業制作準備 4 13. 卒業制作準備 5 14. 卒業制作準備 6 15. 卒業制作準備 7
使用テキスト ・教材等	特になし。
成績評価方法 及び 基準	定期テストにおいて、6割以上の点数で合格。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃の学校生活において、起きる出来事についての関心意欲を持つこと。
履修に 当たっての 留意点	クラス全員が揃う貴重な時間となる為、集中して取り組ませること。

科目名	TOEIC 演習Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説、演習を繰り返し行い、 TOEIC500 点以上取得を目指す。 （演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近年の TOEIC®テストの出題傾向 2. 実力テスト 3. レストランの場面（Listening） 4. レストランの場面（Reading） 5. デパートの場面（Listening） 6. デパートの場面（Reading） 7. 駅の場面（Listening） 8. 駅の場面（Reading） 9. 交通機関の場面（Listening） 10. 交通機関の場面（Reading） 11. 郵便局の場面（Listening） 12. 郵便局の場面（Reading） 13. TOEIC®模試（Listening） 14. TOEIC®模試（Reading） 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC® TEST
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、筆記・Mini Test を総合評価、100 点満点で採点し、 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	毎週行う復習テストのために、自宅学習を必ずすること。 TOEIC®目標スコア達成のために必要な語彙学習を家庭で行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的な発言をすることにより、実社会でのコミュニケーション能力をつけることを意識する。

科目名	TOEIC 演習Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説、演習を繰り返し行い、 TOEIC500 点以上取得を目指す。 （演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の総復習 2. 銀行の場面（Listening） 3. 銀行の場面（Reading） 4. 空港の場面（Listening） 5. 空港の場面（Reading） 6. ホテルでの場面（Listening） 7. ホテルでの場面（Reading） 8. 病院での場面（Listening） 9. 病院での場面（Reading） 10. イベント情報（Listening） 11. イベント情報（Reading） 12. 学校（Listening） 13. TOEIC®模試（Listening） 14. TOEIC®模試（Reading） 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC® TEST
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、筆記・Mini Test を総合評価、100 点満点で採点し、 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	毎週行う復習テストのために、自宅学習を必ずすること。 TOEIC®目標スコア達成のために必要な語彙学習を家庭で行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的な発言をすることにより、実社会でのコミュニケーション能力をつけることを意識する。

科目名	English Interview II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview skills. To achieve this, students will study various styles of English interviews. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 What is important to you? 3. Writing assignment 1 My Self-introduction 4. Unit 2 My morning routine 5. Unit 3 Your recommended restaurant 6. Writing assignment 2 My hometown 7. Unit 4 The best film ever 8. Review Units 1, 2 and 3 9. Unit 5 What is a true friend 10. Writing assignment 3 My strengths and weaknesses 11. Unit 6 The best pizza in town 12. Unit 7 An ideal private tour plan 13. Writing assignment 4 My hero someone I admire 14. Unit 8 Useful apps for your smartphone 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Speaking Steps
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment in class, possibly including a written component.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	English Interview II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview skills. To achieve this, students will study various styles of English interviews. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Unit 9 A proposal for new flavors 3. Writing assignment 5 4. Unit 10 A great figure in the business world 5. Unit 11 Cheese for Uncle David 6. Writing assignment 6 7. Unit 12 The babysitter #1 8. Review Units 9, 10 and 11 9. Unit 13 The babysitter #2 10. Writing assignment 7 11. Unit 14 Unsent letter #1 12. Writing assignment 8 13. Writing assignment 9 My hero someone I admire 14. Unit 15 Unsent letter #2 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Speaking Steps
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment in class, possibly including a written component.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	English Interview II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	近藤 桜花 (実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める)
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>日本では英語のリーディングやライティングに比べて、リスニングやスピーキングに苦手意識を持っている学生は少なくないでしょう。このクラスではスピーキングに必要な語彙や表現を学び、日本人に足りていない「スピーキングの機会」を増やして学生のみなさんが自信を持って英語を話せるようになることが目的です。</p> <p>Input→Practice→Output という段階を踏みながらスピーキング力を身に付けていきます。</p> <p>テーマとして「ソーシャルメディア」「ビジネス」「ストーリー」のジャンルに分け、練習をしていきます。(演習)</p> <p>到達目標：英語で自分の意見をまとめ伝えることができるようになる。 英語での会話のテンポスピードをより早くできるようになる。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1 What is Important to You? (Input/Practice) 2. Unit1 What is Important to You? (Output) /Unit2 My Morning Routine (Input) 3. Unit2 My Morning Routine (Practice/Output) 4. Unit3 Your Recommended Restaurant (Input/Practice) 5. Unit3 Your Recommended Restaurant (Output) /Unit4 The Best Film Ever(Input) 6. Unit4 The Best Film Ever(Practice/Output) 7. Unit5 What is a True Friend?(Input/Practice) 8. Unit5 What is a True Friend?(Output) 9. Unit1~5 の復習とスピーキング練習 10. Unit6 The Best Pizza in Town (Input/Practice) 11. Unit6 The Best Pizza in Town (Output)/Unit7 An Ideal Private Tour Plan(Input) 12. Unit7 An Ideal Private Tour Plan (Practice/Output) 13. Unit8 Useful Apps for Your Smartphone(Input/Practice) 14. Unit8 Useful Apps...(Output)/Unit9 A Proposal for New Flavors(Input) 15. Unit9 A Proposal for New Flavors(Practice/Output)
使用テキスト ・教材等	Speaking Steps
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語に慣れるために英語で映画を見たり、音楽を聴いたりしてください。
履修に 当たっての 留意点	英会話の習得はどれだけ発話を繰り返すかが大切です。授業で英語を話すときは、相手が英語しかわからない相手だと思って会話をしてください。

科目名	English Interview II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	近藤 桜花 (実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める)
学科・学年	国際ホテル科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>日本では英語のリーディングやライティングに比べて、リスニングやスピーキングに苦手意識を持っている学生は少なくないでしょう。このクラスではスピーキングに必要な語彙や表現を学び、日本人に足りていない「スピーキングの機会」を増やして学生のみなさんが自信を持って英語を話せるようになることが目的です。</p> <p>Input→Practice→Output という段階を踏みながらスピーキング力を身に付けていきます。</p> <p>テーマとして「ソーシャルメディア」「ビジネス」「ストーリー」のジャンルに分け、練習をしていきます。(演習)</p> <p>到達目標：英語で自分の意見をまとめ伝えることができるようになる。 英語での会話のテンポスピードをより早くできるようになる。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit10 A Great Figure in the Business World (Input/Practice) 2. Unit10 A Great Figure in the Business World (Output) 3. Unit6~10 の復習とスピーキング練習 4. Unit11 Cheese for Uncle David (Input/Practice) 5. Unit11 Cheese for Uncle David (Output) 6. Unit12 The Babysitter #1 (Input/Practice) 7. Unit12 The Babysitter #1(Output) 8. Unit13 The Babysitter #2(Input/Practice) 9. Unit13 The Babysitter #2(Output) 10. Unit14 Unsent Letter #1(Input/Practice) 11. Unit14 Unsent Letter #1(Output) 12. Unit15 Unsent Letter #2(Input/Practice) 13. Unit15 Unsent Letter #2 (Output) 14. Unit10~15 の復習とスピーキング練習 15. 1 年間の復習とスピーキング練習
使用テキスト ・教材等	Speaking Steps
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語に慣れるために英語で映画を見たり、音楽を聴いたりしてください。
履修に 当たっての 留意点	英会話の習得はどれだけ発話を繰り返すかが大切です。授業で英語を話すときは、相手が英語しかわからない相手だと思って会話をしてください。

科目名	English Interview II ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview skills. To achieve this students will study various styles of English interviews. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 What is important to you? 3. Writing assignment 1 My Self-introduction 4. Unit 2 My morning routine 5. Unit 3 Your recommended restaurant 6. Writing assignment 2 My hometown 7. Unit 4 The best film ever 8. Review Units 1, 2 and 3 9. Unit 5 What is a true friend 10. Writing assignment 3 My strengths and weaknesses 11. Unit 6 The best pizza in town 12. Unit 7 An ideal private tour plan 13. Writing assignment 4 My hero someone I admire 14. Unit 8 Useful apps for your smartphone 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Speaking Steps
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	English Interview II ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	国際ホテル科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview skills. To achieve this students will study various styles of English interviews. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Unit 9 A proposal for new flavors 3. Writing assignment 5 4. Unit 10 A great figure in the business world 5. Unit 11 Cheese for uncle David 6. Writing assignment 6 7. Unit 12 The babysitter #1 8. Review Units 9, 10 and 11 9. Unit 13 The babysitter #2 10. Writing assignment 7 11. Unit 14 Unsent letter #1 12. Writing assignment 8 13. Writing assignment 9 My hero someone I admire 14. Unit 15 Unsent letter #2 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Speaking Steps
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	一般教養 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	酒井 英津子 (実務経験：なし)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>社会人になる為に必要な一般常識を身につけることを目指し、以下の4つのテーマで授業を進めていきます。(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙力と文章力のスキルアップ 2. 政治・経済の基礎知識 3. 企業採用試験に出される言語分野と非言語分野 4. 日本の企業、世界の企業 <p>修得した知識を駆使しながら、出されたテーマに沿ったディスカッションも行い、自分の考えを上手く伝えるように指導いたします。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と自己紹介 2. 一般常識のテスト (学生の基礎学力を測る) 3. 同義語と対義語 / 仕事算・鶴亀算 4. 慣用句 / 速さ・時間・距離 5. 四字熟語 / 場合の数 6. チェックテスト① 7. 国会・内閣・政党 8. 憲法・法律・裁判 9. 国文法 1 / 確率 10. 国文法 2 / 割合 11. 文章整理と短文穴埋め / 集合 12. チェックテスト② 13. 日本の企業と中部地方の企業 14. 世界の企業 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	SPI クリア問題集 (成美堂出版)
成績評価方法 及び 基準	チェックテスト①20点、チェックテスト②20点、期末試験 60点、計 100点満点で採点し、60点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	間違った問題は必ず復習してください。
履修に 当たっての 留意点	テレビやネット上で流れているニュースを、日頃からチェックしてください。

科目名	コンピュータトレーニング（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	矢島 親男（実務経験：なし）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>コンピュータを使用したアプリケーション（Office）のスキルアップ。 現場に出たからの、コンピュータスキルとして最低限のことを身につける。 Word を利用した文書作成および基本的な操作技術を学ぶ。 パソコン室のコンピュータを利用した演習授業。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<p>Word</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Word の起動と終了、入力インジケータ、文字の入力 2. 文章の入力、入力の訂正、ファイルの保存と読み込み、ページ設定 3. 移動とコピー 4. 文書の作成 5. 文字の拡大と縮小、文字の修飾 6. 基本的な社外文書作成総合演習 7. 表を活用した文書の作成 8. 表の編集 9. 表を利用した文書作成総合演習 10. ページの色、ページ罫線の利用、ワードアートの利用 11. 図形の描画、図形の回転、図形のコピー 12. 画像の効果、挿入 13. 文字表示倍率の変更、テキストボックスの挿入 <p>PowerPoint</p> <ol style="list-style-type: none"> 14. プレゼンテーションの作成、文字修飾と図形の活用 15. グラフの活用、SmartArt の活用、アニメーション効果
使用テキスト ・教材等	Windows10 対応 30 時間でマスター Office2016（実教出版）
成績評価方法 及び 基準	<p>実習評価（平常点 20 点を含む）の 6 割以上確保を持って合格とする。 実習評価は、毎時間内に提出する課題の点数評価の合計点とする。（事前説明後、提出課題の課題点を加味する場合もある）その他、学則に準拠する。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	下欄を参照
履修に 当たっての 留意点	<p>就職活動における公欠であっても、授業は進み、提出課題も進んでいくので、 授業を抜けたのなら、登校した日に、直ちに該当授業の課題を進めて提出すること。 課題提出状況により理解度不足であると判断した場合には、実習後または指定期日に 補習（実習）を実施することがある。</p>

科目名	コンピュータトレーニング（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	矢島 親男（実務経験：なし）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	前期に引き続きコンピュータを使用したアプリケーション（Office）のスキルアップ。 現場に出たからの、コンピュータスキルとして最低限のことを身につける。 後期は前期から続いている PowerPoint を利用したスライドショーの作成。その後、 Excel を利用した表計算およびグラフの作成。関数を理解しながら、プログラミング の基礎を学習する。 パソコン室のコンピュータを利用した演習授業。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	PowerPoint 1. 表の活用と画像の挿入、ワードアートの挿入、その他の機能 2. 練習問題作成、スライドショー Excel 3. Excel とは、画面構成、表計算ソフトとは① 4. 表計算ソフトとは②、データ入力の基礎、保存と読み込み、ワークシート編集① 5. ワークシート編集②、関数を使った計算式① 6. 関数を使った計算式② 7. 小数点とセルの参照、罫線 8. 行の挿入 9. グラフ① 10. グラフ② 11. 条件判定① 12. 条件判定② 13. 順位付け 14. 検索関数の利用 15. Excel の便利な機能、Web ページを利用した表の作成、Word と Excel の活用
使用テキスト ・教材等	Windows10 対応 30 時間でマスター Office2016（実教出版）
成績評価方法 及び 基準	実習評価（平常点 20 点を含む）の 6 割以上確保を持って合格とする。 実習評価は、毎時間内に提出する課題の点数評価の合計点とする。（事前説明後、提出 課題の課題点を加味する場合もある）その他、学則に準拠する。
授業時間外 に必要な 学修内容	下欄を参照
履修に 当たっての 留意点	就職活動における公欠であっても、授業は進み、提出課題も進んでいくので、 授業を抜けたのなら、登校した日に、直ちに該当授業の課題を進めて提出すること。 課題提出状況により理解度不足であると判断した場合には、実習後または指定期日に 補習（実習）を実施することがある。

科目名	ホテル総論（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久（実務経験：ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	プロのホテルマンとしてお客様にホスピタリティ溢れるサービスを提供するために、ホテル業に対する正しい知識を学習する。 基本知識を体系的に学び、職業意識を身に付けさせ、お客様により良いホスピタリティが提供できるホテルエを目指す。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業プレゼンテーション（なぜこの授業が必要なのか） 2. ホテルとは 3. ホテルの歴史とは 4. ホテルの組織 5. 宿泊部門その① 6. 宿泊部門その② 7. 料飲部門その① 8. 料飲部門その② 9. 宴会部門 10. 調理部門 11. セールス部門 12. 企画部門 13. 総務・人事部門 14. 仕入・経理部門 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	新ホテル総論（日本ホテル教育センター）
成績評価方法 及び 基準	前期末試験にて 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	名古屋市内 6 大ホテルの見学
履修に 当たっての 留意点	

科目名	ホテル総論（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久（実務経験：ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	プロのホテルマンとしてお客様にホスピタリティ溢れるサービスを提供するために、ホテル業に対する正しい知識を学習する。 基本知識を体系的に学び、職業意識を身に付けさせ、お客様により良いホスピタリティが提供できるホテルエを目指す。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスとは 2. サービスの心構え 3. 宿泊サービスの基礎知識 4. 料飲サービスの基礎知識 5. 宴会サービスの基礎知識 6. ホテルの防災・防犯管理 7. ホテル業界の課題 8. ホテル業を取り巻く環境の変化 9. ケーススタディその① 10. ケーススタディその② 11. ケーススタディその③ 12. 企業研究その① 13. 企業研究その② 14. 企業選択アドバイス 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	新ホテル総論（日本ホテル教育センター）
成績評価方法 及び 基準	後期末試験にて 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	名古屋市内 6 大ホテルの見学
履修に 当たっての 留意点	

科目名	英検・TOEIC 対策 I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検・TOEIC 対策 I は、場面ごとの英語表現・語彙を覚えることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストで、就職に必要とされる 700 点以上獲得を目指すことを目的とします。 授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Part1-4 提案・勧誘・承諾等の語彙と表現を学び正解を増やす 2. Reading Part5-7 時制問題への対応力をつける 3. Listening Part1-4 相手の意図を確認する表現を学ぶ 4. Reading Part5-7 時を表す副詞節における時制問題への対応力をつける 5. Listening Part1-4 会話の始まりと返答例を学び正解をふやす 6. Reading Part5-7 助動詞問題を解くコツを学ぶ 7. Listening Part1-4 ニュース関連問題への対応力をつける 8. Reading Part5-7 フレーズリーディング方法を利用して長文を読む 9. Listening Part1-4 相手に義務を伝える表現を学ぶ 10. Reading Part5-7 代名詞の役割と出題のパターンを知る 11. Listening Part1-4 理由を問う表現を学習する 12. Reading Part5-7 前置詞についての知識を増やす 13. Listening Part1-4 苦情と伝える直接表現と間接表現を学ぶ 14. Reading Part5-7 接続詞の役割と意味を学び読解力を伸ばす前置詞 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	新訂版 TOEIC L&R テストへようこそ
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする 毎回行う単語テストの結果も加味する
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。 欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検・TOEIC 対策 I は、前期に引き続き、場面ごとの英語表現・語彙を覚えることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストで、以前獲得した点数より 100 点以上上の獲得を目指すことを目的とします。 授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Part1-4 道路状況を伝える際の語彙と表現を学び正解を増やす 2. Reading Part5-7 スキャニング技術を身につけて読解スピードをあげる 3. Listening Part1-4 Yes/No 疑問文への解答のコツを学ぶ 4. Reading Part5-7 関係代名詞と関係副詞について学ぶ 5. Listening Part1-4 意見を求めたり述べるときの表現を学ぶ 6. Reading Part5-7 分詞構文問題への対応力をつける 7. Listening Part1-4 意見の一致及び不一致を伝える表現を学ぶ 8. Reading Part5-7 仮定法を学び正解を増やす 9. Listening Part1-4 会議の目的や進行状況について素早く理解する力をつける 10. Reading Part5-7 スキミング技術について学び活用できるようにする 11. Listening Part1-4 模試 100 問一解答及び解説 12. Reading Part5-7 模試 100 問一解答及び解説 13. Listening Part1-4 模試 100 問一解答及び解説 14. Reading Part5-7 模試 100 問一解答及び解説 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	新訂版 TOEIC L&R テストへようこそ
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする 毎回行う単語テストの結果も加味する
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。 欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村松 和子 (実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検合格及び TOEIC のスコアアップのために必要な勉強時間・方法について、それぞれの生徒に自覚させ、短期間でのスコアアップを実現するための勉強方法、また勉強時間を確保するためのコツを身に付けます。 定期的な過去問・語彙力チェックテストの実施により、生徒一人一人の弱点と強みを把握し、その都度、最適な学習方法を提案します(例：熟語習得練習・Global reading、Sight Reading の練習 etc) 英検・TOEIC を意識したテストで実力を図り、評価対象とします。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 2. Unit1 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 3. 文法チェック～動詞と時制～ 語彙力チェックテスト実施予定 4. Unit2 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 5. Unit2 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 6. 文法チェック～形容詞～ 語彙力チェックテスト実施予定 7. Unit3 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 8. Unit3 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 9. 文法チェック～5 文型～ 語彙力チェックテスト実施予定 10. Unit1～3 のおさらい 実力確認小テスト実施予定 11. 長文読解+穴埋めの解き方確認・実践 12. Unit4 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 13. Unit4 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 14. 文法チェック～目的語・補語の捉え方～ 語彙力チェックテスト実施予定 15. 前期おさらい / 前期試験内容の確認
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	テキスト内に出てくる語彙、練習問題の出来具合及び、実戦問題を意識したデモテストで実力を図り、評価対象とする。100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙力を身につけるために、自分なりの英語練習帳または本を用意するとよい。
履修に 当たっての 留意点	英和辞典を用意すること。一度出てきた単語はしっかり覚える意識を持つこと。

科目名	英検・TOEIC 対策 I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村松 和子 (実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検合格及び TOEIC のスコアアップのために必要な勉強時間・方法について、それぞれの生徒に自覚させ、短期間でのスコアアップを実現するための勉強方法、また勉強時間を確保するためのコツを身に付けます。 定期的な過去問・語彙力チェックテストの実施により、生徒一人一人の弱点と強みを把握し、その都度、最適な学習方法を提案します(例：熟語習得練習・Global reading、Sight Reading の練習 etc) 英検・TOEIC を意識したテストで実力を図り、評価対象とします。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit5 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 2. Unit5 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 3. 文法チェック～前置詞～ 語彙力チェックテスト実施予定 4. Unit6 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 5. Unit6 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 6. 文法チェック～接続詞～ 語彙力チェックテスト実施予定 7. Unit7 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 8. Unit7 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 9. 文法チェック～関係代名詞～ 語彙力チェックテスト実施予定 10. Unit5～7 のおさらい 実力確認小テスト実施予定 11. 長文読解+穴埋めの解き方確認・実践 12. Unit8 聞き取り(穴埋め)及び写真からの読み取り・会話聞き取り練習 13. Unit8 語彙力強化練習・穴埋め・長文読解の練習 14. Unit9～12 後期テストに反映 内容確認+実践演習 15. Unit9～12 / 後期試験内容の確認
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	テキスト内に出てくる語彙、練習問題の出来具合及び、実戦問題を意識したデモテストで実力を図り、評価対象とする。100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙力を身につけるために、自分なりの英語練習帳または本を用意するとよい。
履修に 当たっての 留意点	英和辞典を用意すること。一度出てきた単語はしっかり覚える意識を持つこと。

科目名	英検・TOEIC 対策 I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	前期は英検 2 級取得を目標として授業を行う。特に英検一次試験に重点を置き、必要なボキャブラリーやイディオムの習得、文法事項、長文読解、リスニングを繰り返し学び、基礎知識の確実な定着を図る。また、英検の形式に慣れるため、過去問題や模擬試験を多く解いていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、レベルチェック 2. 英文の要素 (名詞、形容詞、副詞の役割など) 3. 5 文型と文の構造 4. 短文の語句空所補充問題 (単語) 5. リスニング問題 6. 短文の語句空所補充問題 (熟語) 7. リスニング問題 8. 短文の語句空所補充問題 (文法) 9. リスニング問題 10. 長文の語句空所補充問題 11. 長文の内容一致選択問題① 12. 長文の内容一致選択問題① 13. ライティング問題① 14. ライティング問題② 15. リスニングテスト
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R TEST -New Edition- DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	授業内で実施する単語テストとリスニングテスト、期末テストの合計を 100 点とし、60 点以上で合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	次回実施するページの予習、単語テストの勉強
履修に 当たっての 留意点	毎日必ず英語に触れる機会を作ること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実 (実務経験: 全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	後期は英検 2 級テキストの応用編に取り組むことで、さらに幅広い英語力を身につけ、より不安なく合格を目指すことができるよう対策を行う。また TOEIC L&R テストにも挑戦をするため、各パート基本的な文法、長文読解、リスニングを学び、TOEIC 独自の出題形式やボキャブラリーを理解する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. [応用] 短文の語句空所補充問題 (単語) 2. [応用] 短文の語句空所補充問題 (熟語) 3. [応用] 短文の語句空所補充問題 (文法) 4. [応用] リスニング問題 5. [応用] 長文の語句空所補充問題 6. [応用] 長文の内容一致選択問題 7. ライティング問題 8. Unit1 Part1~4/Part5~7 時制の理解/ダブルパッセージ読解 9. Unit2 Part1~4/Part5~7 現在時制の理解/図表の読み取り 10. Unit3 Part1~4/Part5~7 完了時制の理解/広告文の読み取り 11. Unit4 Part1~4/Part5~7 仮定法の理解/図表の読み取り 12. Unit5 Part1~4/Part5~7 不定詞の理解/トリプルパッセージの読解 13. Unit6 Part1~4/Part5~7 動名詞の理解/チャットの読み取り 14. まとめ 15. リスニングテスト
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R TEST –New Edition- DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	授業内で実施する単語テストとリスニングテスト、期末テストの合計を 100 点とし、60 点以上で合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	次回実施するページの予習、単語テストの勉強
履修に 当たっての 留意点	毎日必ず英語に触れる機会を作ること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ④（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	海老原 由香梨（実務経験：英語教師として高校で約 6 年間勤務）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	本授業は就職の際に有効となる実用英語技能検定の合格や TOEIC のスコアアップを目指していく。前期は英検の問題を中心に演習を行い、重要な文法・語彙・表現を随時確認する。授業では一人一人に発言の機会を与え、主体的に問題に取り組んでもらうことで学習意欲を高めていく。また、語彙や文法の定着を目的とする小テストを実施する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 自己紹介・授業の進め方について 2. 1 日目〈基礎編〉筆記 1①（単語）・5 日目〈基礎編〉筆記 2① 3. 2 日目〈基礎編〉筆記 1②（熟語）・6 日目〈基礎編〉筆記 3① 4. 3 日目〈基礎編〉筆記 1③（文法）・7 日目〈基礎編〉筆記 3② 5. 4 日目〈基礎編〉筆記 1④（語法）・8 日目〈基礎編〉筆記 4① 6. 9 日目〈基礎編〉リスニング第 1 部・〈基礎編〉復習 7. 10 日目〈基礎編〉リスニング第 2 部・〈基礎編〉復習 8. 11 日目〈応用編〉筆記 1⑤（単語）・12 日目〈応用編〉筆記 1⑥（熟語） 9. 13 日目〈応用編〉筆記 1⑦（文法）・15 日目〈応用編〉筆記 2② 10. 14 日目〈応用編〉筆記 1⑧（語法）・16 日目〈応用編〉筆記 3③ 11. 17 日目〈応用編〉筆記 4②・18 日目〈応用編〉リスニング第 1 部② 12. 19 日目〈応用編〉リスニング第 2 部②・〈応用編〉復習 13. 20 日目 実力完成模擬テスト 14. 20 日目 実力完成模擬テスト 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	定期試験を 80 点満点、平常点を 20 点満点の計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	検定試験合格のためには日々の積み重ねが必要なため、単語学習は毎日行い、問題演習も自主的に取り組むこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に授業に参加し、不明な点は質問をすること。

科目名	英検・TOEIC 対策 I ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	海老原 由香梨（実務経験：英語教師として高校で約 6 年間勤務）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	本授業では就職の際に有効となる実用英語技能検定の合格や TOEIC のスコアアップを目指していく。後期は TOEIC の問題を中心に演習を行い、各パートの特徴をおさえつつリスニング・リーディングの力を伸ばしていく。重要な文法・語彙・表現は随時確認をし、小テストなどで再確認をする。授業では一人一人に発言の機会を与え、主体的に問題に取り組んでもらうことで学習意欲も高めていく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 1 2. Unit 2 3. Unit 3 4. Unit 4 5. Unit 5 6. Unit 6 7. Unit 7 8. Unit 1～4 まとめ 9. Unit 5～7 まとめ 10. Unit 8 11. Unit 9 12. Unit 10 13. Unit 11 14. Unit 12 15. Unit 8～12 まとめ
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R TEST –New Edition–
成績評価方法 及び 基準	定期試験を 80 点満点、平常点を 20 点満点の計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	検定試験合格のためには日々の積み重ねが必要なため、単語学習は毎日行い、問題演習も自主的に取り組むこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に授業に参加し、不明な点は質問をすること。

科目名	英検・TOEIC 対策 I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	土台となる文法を学び、必要な語彙力をつけながら、英検 2 級問題に取り組める基礎力を育成し、合格に必要な理解力を身につけることを目標とします。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	16. はじめに 英検 2 級について 17. 短文の語句空所補充問題攻略/リスニング問題攻略 18. 文法問題演習/ライティング問題攻略 19. 文法問題演習/リスニング問題攻略 20. 長文問題攻略/ライティング問題攻略 21. 英検・TOEIC 試験フィードバック 22. 英検二次試験前スピーキング問題攻略/TOEIC Part1、Part5 問題演習 23. 英検二次試験前スピーキング問題演習/TOEIC Part2、Part5 問題演習 24. リスニング/スピーキング試験演習 25. リスニング/スピーキング試験演習 26. リスニングテスト/前期試験対策 27. 前期試験フィードバック 28. TOEIC Part3、6 問題演習 29. TOEIC Part4、7 問題演習 30. 前期まとめ/英検過去問題演習
使用テキスト ・教材等	DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ Welcome to the TOEIC L&R TEST -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、ポキャブラリービルディングを行うこと
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	必要な語彙力をつけながら、問題の解き方を学び、その答えとなる理由を考察、英検 2 級合格から TOEIC へつながる英語力を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	16. 英検・TOEIC 試験フィードバック 17. リスニング/ライティング問題攻略 18. 英検二次試験前スピーキング問題攻略/TOEIC Part1、Part5 問題演習 19. 英検二次試験前スピーキング問題演習/TOEIC Part2、Part5 問題演習 20. 短文の語句空所補充問題攻略/文法問題演習 21. 長文問題攻略/TOEIC Part3、6 問題演習 22. 長文問題攻略/TOEIC Part4、7 問題演習 23. リスニング/ライティング問題攻略 24. リスニングテスト/後期試験対策 25. 後期試験フィードバック 26. 英検・TOEIC 試験フィードバック 27. 英検二次試験前スピーキング問題演習/TOEIC Part1、2、5 問題演習 28. 英検二次試験前スピーキング問題演習/TOEIC Part3、6、7 問題演習 29. TOEIC 総合演習 30. 一年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	DAILY 20 日間 英検 2 級 集中ゼミ Welcome to the TOEIC L&R TEST -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、ポキャブラリービルディングを行うこと
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	松下 和子 (実務経験: ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	早期の英検準 2 級合格を目指す。英検準 2 級合格に必要な語彙力、文法力、読解力、リスニング力、ライティング力の習得を目標とする。単語テストを毎レッスン実施し評価対象とする。英検準 2 級合格、期末テストを評価対象とする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期目標の確認及び短文の語句補充問題の指導 2. 短文の語句補充問題(単語)及び単語テスト 3. 短文の語句補充問題(熟語)及び単語テスト 4. 短文の語句補充問題(文法)及び単語テスト 5. 短文の語句補充問題(語法)及び単語テスト 6. 長文の語句空所補充問題の攻略及び単語テスト 7. 長文の内容一致選択問題の攻略及び単語テスト 8. 英作文問題の指導① 9. 英作文問題の指導② 10. リスニング問題の攻略法指導① 11. リスニング問題の攻略法指導② 12. 模擬試験実施 13. 模擬試験解説 14. 後期総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Daily 20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、単語テスト 20 点、英検合格 20 点、平常点 10 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	単語力習得のための学習を毎日実施すること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	松下 和子 (実務経験: ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	早期の英検準 2 級合格を目指す。英検準 2 級合格に必要な語彙力、文法力、読解力、リスニング力、ライティング力の習得を目標とする。単語テストを毎レッスン実施し評価対象とする。英検準 2 級合格、期末テストを評価対象とする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期目標の確認及び短文の語句補充問題の指導 2. 短文の語句補充問題(単語)及び単語テスト 3. 短文の語句補充問題(熟語)及び単語テスト 4. 短文の語句補充問題(文法)及び単語テスト 5. 短文の語句補充問題(語法)及び単語テスト 6. 長文の語句空所補充問題の攻略及び単語テスト 7. 長文の内容一致選択問題の攻略及び単語テスト 8. 英作文問題の指導① 9. 英作文問題の指導② 10. リスニング問題の攻略法指導① 11. リスニング問題の攻略法指導② 12. 模擬試験実施 13. 模擬試験解説 14. 後期総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Daily 20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、単語テスト 20 点、英検合格 20 点、平常点 10 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	単語力習得のための学習を毎日実施すること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。 ・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。 ・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。 ・英語を学ぶこと、英語を理解し使えるようになることの楽しさを知るために英語の基礎を学びます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 英検合格のために必要なこと 2. 1 日目 短文の語句空所補充問題 (単語) 3. 2 日目 短文の語句空所補充問題 (熟語) 4. 3 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 5. 4 日目 会話文の語句空所補充問題 6. 5 日目 長文の語句空所補充問題 7. 6 日目 長文の内容一致選択問題 8. 7 日目 英作文問題の攻略 9. 英検の英作文で使える表現 10. 英作文過去問 11. 8 日目 リスニング第 1 部 12. 9 日目 リスニング第 2 部 13. 10 日目 リスニング第 3 部 14. リスニングでよく使われる表現 15. 模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題・小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い、不合格者は再試とする。

科目名	英検・TOEIC 対策 I ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。 ・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。 ・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。 ・英語を学ぶこと、英語を理解し使えるようになることの楽しさを知るために英語の基礎を学びます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期復習テスト 2. 11 日目 短文の語句空所補充問題 (単語) 3. 12 日目 短文の語句空所補充問題 (熟語) 4. 13 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 5. 14 日目 会話文の語句空所補充問題 6. 15 日目 長文の語句空所補充問題 7. 16 日目 長文の内容一致選択問題 8. 17 日目 英作文問題の攻略 9. 英検の英作文で使える表現 10. 英作文過去問 11. 18 日目 リスニング第 2 部 12. 19 日目 リスニング第 3 部 13. リスニングでよく使われる表現 14. 20 日目 実力完成模擬テスト 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題・小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い、不合格者は再試とする。

科目名	ホテル英語 I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を学ぶ。 ・接客の様々な場面においてよく使われる基本表現を身につけ、さらにそれを実際の場で使いこなせるようになるため Pair work などを行うことにより応用表現を学ぶ。 ・海外から日本を訪れたお客様に対して、おもてなしの心を持ち、快適な時間を過ごしていただけるような接客を行うための英語でのコミュニケーション能力をつけることを最終目的にする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (授業、テキスト、テスト、接客英語について) 2. Unit 1 Transportation (交通機関についての情報や案内の仕方) 3. Unit 1 Transportation (Practice&Pair Work) 4. Unit 2 At a Check-in Counter (チェックインの際の対応) 5. Unit 2 At a Check-in Counter (Practice&Pair Work) 6. Unit 3 Facilities and Services (ホテルの中のサービスや施設の案内) 7. Unit 3 Facilities and Services (Practice&Pair Work) 8. Unit 4 Giving Direction (海外からのお客様に道案内をする) 9. Unit 4 Giving Direction (Practice&Pair Work) 10. Unit 5 Recommending a Trip (日本の観光スポットをおすすめする) 11. Unit 5 Recommending a Trip (Practice&Pair Work) 12. Unit 6 Dining in Japan① (海外からのお客様に食事の案内をする) 13. Unit 6 Dining in Japan① (Practice&Pair Work) 14. Unit 7 Dining in Japan② (日本料理の説明をする) 15. 前期末試験
使用テキスト ・教材等	HOSPITALITY ON THE SCENE
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前に本文内の単語を調べ、本文を読んでくる。授業後には覚えた表現を使いこなせるようになるまで復習をする。
履修に 当たっての 留意点	授業中のロールプレイは学んだことをもとに、積極的に発話するように心がける。

科目名	ホテル英語 I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を学ぶ。 ・接客の様々な場面においてよく使われる基本表現を身につけ、さらにそれを実際の場で使いこなせるようになるため Pair work などを行うことにより応用表現を学ぶ。 ・海外から日本を訪れたお客様に対して、おもてなしの心を持ち、快適な時間を過ごしていただけるような接客を行うための英語でのコミュニケーション能力をつけることを最終目的にする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 8 Arranging a Tour (海外からのお客様に国内旅行を手配する) 2. Unit 8 Arranging a Tour (Practice&Pair Work) 3. Unit 9 Staying at a Ryokan (旅館の説明と案内の仕方) 4. Unit 9 Staying at a Ryokan (Practice&Pair Work) 5. Unit 10 Culture Experience in Japan① (日本の伝統文化を紹介する) 6. Unit 10 Culture Experience in Japan① (Practice&Pair Work) 7. Unit 11 Culture Experience in Japan② (日本の年中行事や伝統芸能を紹介する) 8. Unit 11 Culture Experience in Japan② (Practice&Pair Work) 9. Unit 12 Japanese Souvenirs (お土産の紹介とショッピングの案内の仕方) 10. Unit 12 Japanese Souvenirs (Practice&Pair Work) 11. Unit 13 Dealing with Health problems and Emergencies (旅行中の病気やけがの対処、事故や災害など緊急時の対応) 12. Unit 14 Dealing with Complaints and Accidents (お客様からのクレームや問い合わせへの対応) 13. Unit 15 Upon departure (チェックアウトやその後の手配) 14. Unit 13.14.15 (Practice & Pair Work) 15. 後期末試験
使用テキスト ・教材等	HOSPITALITY ON THE SCENE
成績評価方法 及び基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前に本文内の単語を調べ、本文を読んでくる。授業後には覚えた表現を使いこなせるようになるまで復習をする。
履修に 当たっての 留意点	授業中のロールプレイは学んだことをもとに、積極的に発話するように心がける。

科目名	ホテル英語 I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	訪日外国人客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を学ぶ授業です。接客のさまざまな場面において、適切でスムーズなコミュニケーションを図ることを目標にします。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに接客英語と観光英語検定について 2. Unit1 交通案内 3. Unit2 ホテルでのチェックイン 4. Unit3 ホテル内の施設やサービス案内 5. Unit4 街歩きのための道案内 6. Unit1~4 の復習 7. Unit5 観光スポットを薦める 8. Unit6 日本食の紹介① 9. Unit7 日本食の紹介② 10. Unit5~7 の復習 11. 前期試験演習 12. 前期試験フィードバック 13. Unit8 国内旅行の手配 14. Unit9 旅館について 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	Hospitality on the scene
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	テキストの反復練習や予習、復習に努めること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	ホテル英語 I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	訪日外国人客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を学ぶ授業です。接客のさまざまな場面において、適切でスムーズなコミュニケーションを図ることを目標にします。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光英語検定問題に挑戦 2. Unit10 日本文化体験① 3. Unit11 日本文化体験② 4. Unit8~11 の復習 5. Unit12 ショッピング 6. Unit13 けがや病気の対応 7. Unit14 クレームやアクシデントの対応 8. Unit15 帰国に際して 9. Unit12~15 の復習 10. 後期試験演習 11. 後期試験フィードバック 12. ホテル英語総合演習 13. レストラン英語総合演習 14. お客様とのスモールトーク演習 15. 一年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	Hospitality on the scene
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	テキストの反復練習や予習、復習に努めること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	中国語 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	胡 麗君 (実務経験：中国語の個人レッスン 10 年、通訳業務にも長年携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	近年、来日観光・ビジネスする人々が増え続け、中国語は仕事・生活中に必要性が高まりつつある。中国語ピンインの習得、簡単な文型、自己紹介、簡単なホテル用語ができるようになるまでのレベルを目指す。 パワーポイントを使用する。中国語を楽しく学んでほしいので、中国で有名な映画や流行的な歌など利用しながら授業を進める。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国概要、教室用語 2. ピンイン 1 及び声調、発音練習、簡単な日常挨拶言葉 3. 声調練習、聴解練習 4. ピンイン 2、発音練習、簡単な日常挨拶言葉 5. 声調練習、聴解練習 6. ピンイン 3、簡単な挨拶言葉、発音練習 7. 声調練習、聴解練習 8. ピンイン 4、簡単な挨拶言葉、発音練習 9. ピンイン読む力、聴解練習 10. 人称代名詞、諾否 (是, 不是)、一般疑問文 11. 自己紹介文章解読 12. 自己紹介練習、ホテル用語及び会話練習 13. 中国映画及び中国歌鑑賞 14. 前期復習、聴解練習 15. 前期テスト
使用テキスト ・教材等	ケンタくんの中国語 I、中検準 4 級試験問題
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価。 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常用語及びホテル用語を積極的に調べること。
履修に 当たっての 留意点	授業中積極的に中国語を使って (一言でもいいので) 会話すること。 授業で使用するテキストを見ながら各自で予習、復習しておくこと。

科目名	中国語 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	胡 麗君 (実務経験：中国語の個人レッスン 10 年、通訳業務にも長年携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	近年、来日観光・ビジネスする人々が増え続け、中国語は仕事・生活中に必要性が高まりつつある。中国語ピンインの習得、簡単な文型、自己紹介、簡単なホテル用語ができるようになるまでのレベルを目指す。中国語検定準 4 級を目指す。 パワーポイントを使用する。中国語を楽しく学んでほしいので、中国で有名な映画や流行的な歌など利用しながら授業を進める。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指示代詞、連体修飾語を作る”的“、疑問詞疑問文 2. 文章解読、練習問題 3. 聴解練習、ホテル用語及び会話練習 4. 数字、(大・小) 数字+量詞、文法：有・多少・几 5. 文章解読、練習問題 6. 聴解練習、ホテル用語及び会話練習 7. 形容詞述語文、反復疑問文、“呢” 疑問文 8. 文章解読、練習問題 9. 指示代詞、有・在、助動詞：想・要 10. 文章解読、練習問題 11. 日付け・時を表す言葉、名詞述語文、“了・吧” の使い方 12. 文章解読、聴解練習、ホテル用語 13. 連動文、時間量、前置詞 14. 文章解読・聴解練習 15. 後期テスト
使用テキスト ・教材等	ケンタくんの中国語、中検準 4 級試験問題
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価。 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常会話及びホテル用語を積極的に調べること。
履修に 当たっての 留意点	授業中積極的に中国語を使って (一言でもいいので) 会話すること。 授業で使用するテキストを見ながら各自で予習、復習しておくこと。

科目名	フランス語 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	柚之原 貴子 (実務経験: 25 年間フランス語逐次通訳業務に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>初めてフランス語を学習する人を対象としたクラスです。フランス語の基礎的な会話表現、それらを理解するために必要な初級文法、レストランサービス技能検定に出題されるフランス料理やワインに関する語彙を毎回少しずつ学びます。アルファベット、発音、挨拶、自己紹介、数字、フランス料理用語等を学習します。授業中の指示語、説明は日本語、徐々にフランス語の割合が増えます。読む、聞く、話す、書く、4 技能の基礎の確立を目指します。(講義)</p> <p>[到達目標] あいさつ、自己紹介ができる。</p> <p>フランス語の基礎的な文法を理解できる。</p> <p>正しいフランス語の発音ができる。</p> <p>レストランサービス技能検定に密接した語彙を習得できる。</p> <p>フランス料理やワインに対する知識を深めることができる。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と評価方法の説明、フランス語概要、アルファベット、挨拶、自己紹介、果物 2. 第 1 課 依頼の表現 (～, s'il vous plaît.)、発音 (概要、母音)、料理史、調理器具 3. 第 2 課 文の仕組みと疑問文 (être, Je suis ～.)、発音 (子音)、メニュー史・構成 4. 第 3 課 動詞 avoir の現在形 (J'ai～.)、宴会とサービス、職域、食器 5. 第 4 課 er 型動詞の現在形 (J'aime ～.)、お菓子概要、ナッツ類 6. 第 5 課 動詞 aimer の使い方、数字 1-10、切る用語、野菜 7. 第 6 課 否定文の作り方 (ne ～pas ～.)、数字 11-20、きのこ、季節 8. 第 7 課 非人称主語の使い方 (Il est～.)、時刻、魚、魚の仕込み用語 9. まとめ (練習問題) 10. 第 8 課 ir 型動詞の現在形 (Je finis～.)、肉 (1)、肉の切り分け方用語 11. 第 9 課 形容詞 (C'est ～.)、肉 (2)、肉の焼き方用語 12. 第 10 課 所有代名詞 (C'est mon ～.)、肉 (3)、基本的調理法 13. 第 11 課 代名詞の強勢形と指示形容詞 (C'est à ～.)、穀物、パスタ 14. まとめ (練習問題) 15. 前期口頭試験
使用テキスト ・教材等	書き込み式フランス語 BOOK (成美堂出版)、いっそイラストフランス語単語帳 (小学館) 毎時レジュメを使用します。
成績評価方法 及び基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業内でのレポート・課題等 : 20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	講義の始めに、前回の授業確認テストを行います。復習を毎日 5 分行ってください。 自分の興味に合ったフランス料理、ワイン等を利用して学習意欲維持に努めてください。
履修に 当たっての 留意点	語学は耳で聞いた音、目で見た綴りを、実際に自分の声で再生することにより習得されます。授業にはフランス語圏のお客様への接客との意識で参加し、積極的に発声してください。

科目名	フランス語 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	柚之原 貴子 (実務経験: 25 年間フランス語逐次通訳業務に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続き、ホテル等を中心に様々な日常生活で使われるフランス語表現を学びます。短く簡単なフランス語を理解でき、レストランサービス技能検定に出題されるフランス料理やワインに関するフランス語語彙の 80%を習得することを目的とします。講義中の指示語はフランス語が増えますが、文法などの説明は日本語で行い、テキストの学習事項をしっかりと理解できるよう努めます。また海外研修にむけてヨーロッパ文化の知識を深めます。(講義)</p> <p>[到達目標] 簡単な接客表現 (あいさつ、案内、数字を用いた表現) を習得できる。 基本的な文法 (平叙文、疑問文、否定文、敬語表現) を習得できる。 正しいフランス語の発音ができる。 フランス料理やワインに対する知識を深めることができる。 レストランサービス技能検定に出題されるフランス語語彙を 80%習得できる。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 12 課 形容詞の使い方 (Je cherche～.)、数字- (~60)、色、いろいろな調理法 2. 第 13 課 定冠詞の縮約形 (J'ai mal～.)、身体 3. 第 14 課 不規則動詞 aller (Je vais～.)、交通手段、料理のフランス語 (前菜) 4. 第 15 課 代名詞 on の使い方 (On va ～.)、国名、料理のフランス語 (スープ) 5. 第 16 課 場所を尋ねる (Où ～?)、時、料理のフランス語 (魚介料理) 6. 第 17 課 不規則動詞 venir (Je viens～.)、曜日、料理のフランス語 (肉料理) 7. 第 18 課 近接未来 (Je vais+動詞の原形)、月、料理のフランス語 (野菜) 8. まとめ (練習問題) 9. 第 19 課 不規則動詞 prendre (Je prends ～.)、料理のフランス語 (チーズ) 10. 第 20 課 天候を言う (Il fait beau.)、料理のフランス語 (デザート) 11. 第 24 課 不規則動詞 pouvoir (Je peux ～.)、料理のフランス語 (飲み物) 12. 第 25 課 不規則動詞 vouloir (Je veux ～.)、数字 (60～1000)、用語まとめ (1) 13. 第 27 課 命令形 (Attends!)、用語まとめ (2) 14. 疑問代名詞、疑問副詞、発音のまとめ 15. 後期口頭試験
使用テキスト ・教材等	書き込み式フランス語 BOOK (成美堂出版)、いっそイラストフランス語単語帳 (小学館) 毎時レジュメを使用します。
成績評価方法 及び基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業内でのレポート・課題等 : 20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	講義の始めに、前回の授業確認テストを行います。復習を毎日 5 分行ってください。 自分の興味に合ったフランス料理、ワイン等を利用して学習意欲維持に努めてください。
履修に 当たっての 留意点	語学は耳で聞いた音、目で見た綴りを、実際に自分の声で再生することにより習得されます。授業にはフランス語圏のお客様への接客との意識で参加し、積極的に発声してください。

科目名	料飲実務 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	金井 翼 (実務経験: 名古屋マリオットアソシアホテル料飲部にて 5 年携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホテルレストランサービスの魅力を理解させる。 料飲部に携わる者としてのホスピタリティマインドを養う。 専門的な知識、技術の基礎を学ぶ。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. レストランサービスとは 2. レストランの種類について 3. お皿の持ち方 4. トレイの持ち方 5. パンサービスの仕方 6. スパークリングワインの注ぎ方 7. ワインの注ぎ方 8. スープチューリンサービス 1 9. スープチューリンサービス 2 10. 確認テスト 11. 客席へのご案内 12. オーダーテイクについて 13. 飲料概論 14. ワインについて 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	西洋料理料飲接客サービス技法 (一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会 監修)
成績評価方法 及び 基準	筆記試験、6 割以上の点数で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	実技の授業の為、復習の時間が必要。
履修に 当たっての 留意点	就職先での即戦力を目指し、指導致します。

科目名	料飲実務 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	金井 翼 (実務経験: 名古屋マリオットアソシアホテル料飲部にて 5 年携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>ホテルレストランサービスの魅力を理解させる。 料飲部に携わる者としてのホスピタリティマインドを養う。 専門的な知識、技術の基礎を学ぶ。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. 料理メニューの作成方法 3. 飲料メニューの作成方法 4. アテンドの仕方 5. チェアサービスについて 6. オリジナルレストラン制作 1 7. オリジナルレストラン制作 2 8. オリジナルレストラン制作 3 9. オリジナルレストラン制作 4 10. 確認テスト 11. オリジナルレストラン制作 5 12. オリジナルレストラン制作 6 13. テスト 1 14. テスト 2 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	<p>西洋料理料飲接客サービス技法 (一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会 監修)</p>
成績評価方法 及び 基準	筆記試験、6 割以上の点数で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	実技の授業の為、復習の時間が必要。
履修に 当たっての 留意点	就職先での即戦力を目指し、指導致します。

科目名	宿泊実務（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久（実務経験：ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	フロント業務（実習）を通し「感じの良い接客とは」を学習する。 ルームリザーベーション・レセプション対応の実践から基礎を習得する。 言葉遣い（敬語・抑揚・スピード）、笑顔での対応等、接客に必要なスキルを磨く。 最終的にはホスピタリティ・ウエルカム感を身に付け素敵なホテルエになることを 目標とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 客室タイプ・客室内の備品、アメニティ 2. 宿泊部門・部署 3. ルームリザーベーション実習その① 4. ルームリザーベーション実習その② 5. ルームリザーベーション実習その③ 6. ルームリザーベーション実習その④ 7. ルームリザーベーション実習テスト 8. ルームリザーベーション実習総評 9. レセプション実習その① 10. レセプション実習その② 11. レセプション実習その③ 12. レセプション実習その④ 13. レセプション実習テスト 14. レセプション実習総評 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。
成績評価方法 及び 基準	実技テストにて 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	サービス業に携わるマインドを常に考える。
履修に 当たっての 留意点	

科目名	面接対策 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久 (実務経験：ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>希望する業界へ就職するために面接力を磨く。 授業を通しホテリエのマインド (ホスピタリティ・ウエルカム感) を身に付ける。 自己分析にて長所・短所を自覚し今後の自己成長へと繋げる。 感じの良い話し方・接し方を学び業界人としてのスキルアップを計る。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再確認 (笑顔・立ち居振る舞い・話し方) 2. 自己紹介 3. 学校生活で力を入れたこと。 4. 志望動機 (業界・企業) 5. 自己 PR 6. 面接練習その① 7. 面接練習その② 8. 面接練習その③ 9. 面接練習その④ 10. 面接練習その⑤ 11. 面接練習その⑥ 12. 面接練習その⑦ 13. 面接練習その⑧ 14. 面接練習その⑨ 15. 企業選択アドバイス
使用テキスト ・教材等	「就職ヒストリー」上級生成成
成績評価方法 及び 基準	進級テストにて 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後に個別面接指導を実施
履修に 当たっての 留意点	

科目名	ブライダル総論（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界での実務経験を活かし、ホテル業界にとって経済面で大変重要な役割を担うブライダルを、ホテル業界を目指す学生に、全般的な基本知識を体系的に習得させることを目的とする。（講義） 多種多様な機能を提供するホテル産業において、重要な商品であるブライダルに対する深い関心と知識を持たせるよう配慮している。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 ブライダルとは 2 ブライダルの定義 3 ブライダル産業 4 ブライダルの歴史 5 世界のブライダル事情 6 慣習 日本と西洋 7 婚礼とは 8 見合い、婚約、結婚式、披露宴 9 挙式スタイル① 10 挙式スタイル② 11 挙式スタイル③ 12 披露宴スタイル① 13 披露宴スタイル② 14 地域の特性 15 まとめ
使用テキスト ・教材等	日本ホテル教育センター ブライダル総論
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活の中で、ホテル・ブライダル共通のおもてなしの心、常に相手を思う精神を意識させる。
履修に 当たっての 留意点	ホテルの中にある、ブライダルの位置づけをしっかりと意識させ、机上の学習だけでなくホスピタリティーマインドを身に付けさせる。

科目名	ブライダル総論（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界での実務経験を活かし、ホテル業界にとって経済面で大変重要な役割を担うブライダルを、ホテル業界を目指す学生に、全般的な基本知識を体系的に習得させることを目的とする。（講義） 多種多様な機能を提供するホテル産業において、重要な商品であるブライダルに対する深い関心と知識を持たせるよう配慮している。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 ホテルにおける婚礼部門位置づけ 2 ホテルにおける婚礼部門スタッフ 3 スタッフの役割 4 セールススタッフ 5 サロンスタッフ 6 サービススタッフ 7 日本の冠婚葬祭 8 結婚記念日 9 婚約指輪と誕生石 10 婚礼に関する忌み言葉 11 結婚祝いマナー 12 結婚に関する諸届 13 婚礼の表書きと水引のマナー 14 まとめ① 15 まとめ②
使用テキスト ・教材等	日本ホテル教育センター ブライダル総論
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活の中で、ホテル・ブライダル共通のおもてなしの心、常に相手を思う精神を意識させる。
履修に 当たっての 留意点	ホテルの中にある、ブライダルの位置づけをしっかりと意識させ、机上の学習だけでなくホスピタリティーマインドを身に付けさせる。

科目名	バンケット実務 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	中野 成男 (実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて勤務 (現在に至る))
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホテル業界における宴会サービスの役割を理解させる 実習を中心にして授業を進め宴会サービスの基本を学び取らせる(実演) 形式的なマナーや規定だけでなく、仲間同士のチームワークやおもてなしの心を学ぶ。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宴会とは、宴会業務について 2. テーブルの種類とテーブルクロス 3. テーブルプラン 4. シルバー、グラス類の名称と使用方法 5. 宴会サービス係とそれぞれの役割 6. フレンチコースの内容 7. テーブルセッティング 8. トレーサービス実習 9. ディッシュサービス実習 10. ボトルサービス実習 11. 迎賓からサービスまでのロールプレイング① 12. 迎賓からサービスまでのロールプレイング② 13. 迎賓からサービスまでのロールプレイング③ 14. 迎賓からサービスまでのロールプレイング④ 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	宴会実務の基礎 (一般財団法人 日本ホテル教育センター)
成績評価方法 及び 基準	実技試験にて、6 割以上の点数で合格。授業内で実施。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自での復習。 可能であれば、インターンシップやアルバイトにて実際にホテルで経験を積むとイメージが付きやすい。
履修に 当たっての 留意点	グループ毎での実習とするため、チームワークの大切さも学び取らせる。

科目名	バンケット実務 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	中野 成男 (実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて勤務 (現在に至る))
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>実習を通して宴会サービスの理解を深める。(実演)</p> <p>宴会サービスとレストランサービスの違いを学び取らせる。</p> <p>形式的なマナーや規定だけでなく、仲間同士のチームワークやおもてなしの心を学ぶ。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. 宴会サービスとレストランサービスの違い 3. サービストレーニング① 4. サービストレーニング② 5. サービストレーニング③ 6. サービストレーニング④ 7. サービストレーニング⑤ 8. サービストレーニング⑥ 9. サービストレーニング⑦ 10. サービストレーニング⑧ 11. サービストレーニング⑨ 12. サービストレーニング⑩ 13. サービストレーニング⑪ 14. サービストレーニング⑫ 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	宴会実務の基礎 (一般財団法人 日本ホテル教育センター)
成績評価方法 及び 基準	<p>授業内で実施。</p> <p>実技試験にて、6 割以上の点数で合格。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>各自での復習。</p> <p>可能であれば、インターンシップやアルバイトにて実際にホテルで経験を積むとイメージが付きやすい。</p>
履修に 当たっての 留意点	グループ毎での実習とするため、チームワークの大切さも学び取らせる。

科目名	バーテンダー実習 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	坂口 修成 (実務経験 : (株) ジェイアール東海ホテルズにて勤務 (~現在に至る))
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	1 年間でバーテンダーとしての最低限知っておくべき基本的な知識及び技術 (基本動作) の習得を目標とする。授業の方法は、90 分を前半と後半に分け、前半では HBA オフィシャルバーテンダーズブックを教材とし、酒類についての基礎的な知識を学び、後半ではバーテンダーとしてのカウンター業務全般について、実際に作業をしながら身に付ける。評価方法は、酒類全般基礎知識 (筆記試験) と実技 (接客とカクテル調合動作を評価項目に基づき評価) での総合評価とする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホテルレストランで取り扱う飲料 2. 酒の歴史と酒造りの原理 3. 酒類の分類 4. ワインの概要とぶどう品種 5. ワインの製造工程とタイプ 6. フランスワイン 7. 世界のワイン 8. ワインと料理との相性 9. ビールの製造工程 10. 世界のビール 11. 清酒の製造工程とその他の醸造酒 12. ウイスキーの製造工程 13. 世界のウイスキー① 14. 世界のウイスキー② 15. 振り返り
使用テキスト ・教材等	HBA オフィシャルバーテンダーズブック
成績評価方法 及び 基準	基礎的な酒類全般知識 50 点、バーテンダー基本実技 (課題 : シェーキング) 30 点、仮想ゲストに対する模擬接客 20 点、計 100 点満点 (60 点以上を合格とする。)
授業時間外 に必要な 学修内容	カクテルの調合技術は、授業の中で理解は出来ても実際に身に付けるには、自宅等で反復練習が必要となる。
履修に 当たっての 留意点	ホテル (レストランを含む) に関する事で不明点があれば、授業内外を問わず積極的に質問すること。

科目名	バーテンダー実習 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	坂口 修成 (実務経験 : (株) ジェイアール東海ホテルズにて勤務 (~現在に至る))
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	1 年間でバーテンダーとしての最低限知っておくべき基本的な知識及び技術 (基本動作) の習得を目標とする。授業の方法は、90 分を前半と後半に分け、前半では HBA オフィシャルバーテンダーズブックを教材とし、酒類についての基礎的な知識を学び、後半ではバーテンダーとしてのカウンター業務全般について、実際に作業をしながら身に付ける。評価方法は、酒類全般基礎知識 (筆記試験) と実技 (接客とカクテル調合動作を評価項目に基づき評価) での総合評価とする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブランデーの原料と製造工程 2. ブランデーの種類 3. ジンの種類と製造工程 4. ウオッカの種類と製造工程 5. ラムの種類と製造工程 6. テキーラの種類と製造工程 7. 焼酎の種類と製造工程 8. リキュールの製造工程 9. リキュールの種類 10. 世界のビール 11. ソフトドリンクの種類 12. カクテルの基礎知識① 13. カクテルの基礎知識② 14. カクテルの基礎知識③ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	HBA オフィシャルバーテンダーズブック
成績評価方法 及び 基準	基礎的な酒類全般知識 (カクテルレシピ含む) 50 点、 バーテンダー基本実技 (課題 : ステア) 30 点、仮想ゲストに対する模擬接客 20 点、 計 100 点満点 (60 点以上を合格とする。)
授業時間外 に必要な 学修内容	カクテルの調合技術は、授業の中で理解は出来ても実際に身に付けるには、 自宅等で反復練習が必要となる。
履修に 当たっての 留意点	ホテル (レストランを含む) に関する事で不明点があれば、授業内外を問わず積極的に 質問すること。

科目名	TOEIC 演習 I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活やビジネスシーンでよく見られる場面や表現で、TOEIC の出題傾向を知り、リスニングとリーディング能力を向上させることを目標とします。国際社会で活躍できる英語コミュニケーション力を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに TOEIC 試験について 2. Unit 1 ファッションとショッピング 3. Unit 2 外食 4. Unit 3 娯楽 5. Unit 4 住まいと家庭生活 6. Unit 5 メディアとインターネット 7. Unit 7 旅行と空港 8. Unit 8 ホテル 9. Unit 9 天気 10. 前期試験前演習 11. 前期リスニング試験 12. 前期試験フィードバック 13. Unit 10 環境とリサイクル 14. Unit 11 フィットネスと健康 15. Unit 6,12 Mini Test
使用テキスト ・教材等	Reading Breakthrough for the TOEIC® Test Listening Breakthrough for the TOEIC® Test
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、ポキャブラリービルディングを行うこと
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	TOEIC 演習 I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活やビジネスシーンでよく見られる場面や表現で、TOEIC の出題傾向を知り、リスニングとリーディング能力を向上させることを目標とします。国際社会で活躍できる英語コミュニケーション力を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit13 ビジネス旅行 2. Unit14 生産と販売 3. Unit15 就職活動と社員募集 4. Unit16 会計 5. Unit17 人事 6. Unit19 カスタマーサービス 7. 後期試験前演習 8. 後期リスニング試験 9. 後期試験フィードバック 10. Unit20 輸出入 11. Unit21 交渉 12. Unit22 プレゼンテーション 13. Unit23 マーケティング 14. Unit18,24 Mini Test 15. 一年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	Reading Breakthrough for the TOEIC® Test Listening Breakthrough for the TOEIC® Test
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、ポキャブラリービルディングを行うこと
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	TOEIC 演習 I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説、演習を繰り返し行い、TOEIC500 点以上取得を目指す。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Fashion and Shopping (現在時制) 2. Eating Out and Restaurants (過去時制) 3. Entertainment and the Movies (未来時制) 4. Housing and Family Life (進行形) 5. The Media and the Internet (完了時制) 6. 復習 7. Travel and Airports (受動態) 8. Hotels and Leisure (使役動詞) 9. The Weather (to 不定詞) 10. The Environment and Recycling (動名詞) 11. Fitness and Health (助動詞) 12. 復習 13. TOEIC®模試 (リスニング) 14. TOEIC®模試 (リーディング) 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	Reading Breakthrough for the TOEIC® Test Listening Breakthrough for the TOEIC® Test
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、筆記・Mini Test を総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	毎週行う復習テストのために、自宅学習を必ずすること。TOEIC®目標スコア達成のために必要な語彙学習を家庭で行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的な発言をすることにより、実社会でのコミュニケーション能力をつけることを意識する。

科目名	TOEIC 演習 I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説、演習を繰り返し行い、TOEIC500 点以上取得を目指す。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Business Trips and Commuting (名詞と代名詞) 2. Advertising and Sales (冠詞) 3. Getting a Job and Promotions (形容詞) 4. Accounting and Office Work (副詞) 5. Personnel and Recruitment (比較) 6. 復習 7. Customer Service and Shipping (関係詞) 8. Trading and Ordering (仮定法) 9. Negotiations and Contracts (前置詞) 10. Presentations and Office Situations (接続詞) 11. Marketing and Office Supplies (数詞) 12. 復習 13. TOEIC®模試 (リスニング) 14. TOEIC®模試 (リーディング) 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	Reading Breakthrough for the TOEIC® Test Listening Breakthrough for the TOEIC® Test
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、筆記・Mini Test を総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	毎週行う復習テストのために、自宅学習を必ずすること。TOEIC® 目標スコア達成のために必要な語彙学習を家庭で行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的な発言をすることにより、実社会でのコミュニケーション能力をつけることを意識する。

科目名	English Interview I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	ジョナサン・サリッシュ (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>In this class, students will learn the skills necessary to have natural discussion in English, while gaining the skills necessary to engage an audience.</p> <p>Upon discussing presentation skills and drafting proposals, students will practice through presentations and roleplaying exercises.</p> <p>We will also cover vocabulary and expressions useful in a wide range of job industries.</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course introduction 2. Unit 1 Speaking About Yourself 3. Unit 2 What Do You Do? 4. Unit 3 What Does He Look Like? 5. Quiz (Unit 1-3) 6. Work on Speaking Project 1 7. Speaking Project 1 Presentation 8. Unit 4 Where are you from? 9. Unit 5 Likes and Dislikes 10. Unit 6 What's She Like? 11. Quiz (Unit 4-6) 12. Work on Speaking Project 2 13. Speaking Project 2 Presentation 14. Extra practice 15. 1st term review
使用テキスト ・教材等	Speaking of People
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 points for class participation and in class assignments ● 80 points for final examination ● 100 points total for the course (over 60 to pass)
授業時間外 に必要な 学修内容	Vocabulary building assignments
履修に 当たっての 留意点	Do not be afraid of making mistakes. The most important thing is that you do your best to express yourself.

科目名	English Interview I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	ジョナサン・サリッシュ (実務経験: 英会話教師 12 年間)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	In this class, students will learn the skills necessary to have natural discussion and give presentations in English. Upon discussing presentation skills and drafting proposals, students will practice through presentations and roleplaying exercises. We will also cover vocabulary and expressions useful in a wide range of job industries.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course introduction 2. Unit 7 Speaking About Yourself 3. Unit 8 What Do You Do? 4. Unit 9 What Does He Look Like? 5. Quiz (Unit 7-9) 6. Work on Speaking Project 1 7. Speaking Project 1 Presentation 8. Unit 10 Where are you from? 9. Unit 11 Likes and Dislikes 10. Unit 12 What's She Like? 11. Quiz (Unit 10-12) 12. Work on Speaking Project 2 13. Speaking Project 2 Presentation 14. Extra practice 15. 2nd term review
使用テキスト ・教材等	Speaking of People
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> • 20 points for class participation and in class assignments • 80 points for final examination • 100 points total for the course (over 60 to pass)
授業時間外 に必要な 学修内容	Vocabulary building assignments
履修に 当たっての 留意点	Do not be afraid of making mistakes. The most important thing is that you do your best to express yourself.

科目名	English Interview I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	国際ビジネスにおける英語対応能力は更に必要性を増しており、力をつけることでキャリア形成の幅を広げることが出来ます。 語彙力や表現力をつけ就職活動で役立つ英語力を身に付けていきます。 また、情報をシェアし対策の幅を広げます。(講義) 必要な単語や使い方をしっかり覚え、スムーズにコミュニケーションが取れることを目指し、実践練習 (様々な場面を想定したロールプレイング) を交えながらしっかりと伝える力、対応出来る力を身につけることを目標とします。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. 授業概要と評価方法の説明、English Interview I について、自己紹介、挨拶 2. Unit-1 Speaking about yourself 3. Unit-1 Speaking about yourself (演習) 4. Unit-2 What do you do? 5. Unit-2 What do you do? (演習) 6. Unit-3 What does he look like? 7. Unit-3 What does he look like? (演習) 8. Review Units 1-3 9. Unit-4 Where are you from? 10. Unit-4 Where are you from? (演習) 11. Unit-5 Likes and Dislikes 12. Unit-5 Likes and Dislikes (演習) 13. Unit-6 What's she like? 14. Unit-6 What's she like? (演習) 15. Review Units 4-6 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	Speaking of People (南雲堂) 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業内での演習 : 20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	様々なシーンを想定して英語では何と云えば良いのか、 どのように気持ちを伝えられるのか考え、練習しましょう。
履修に 当たっての 留意点	演習の際には積極的に行動し、コミュニケーションをとってください。

科目名	English Interview I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導に携わる)
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	前期で学んだ会話のレベルを更に上げ、 様々なシーンに対応出来る英語力をつけていきます。(講義) 国際ビジネスで大切なホスピタリティや異文化コミュニケーション、プレゼンテーションのスキル等、英語力だけではないコミュニケーションスキルを磨きます。(演習) 就職活動に必要な英語面接のロールプレイング等、 実践練習を増やして本番に備えます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit-7 Tell me about your family. 2. Unit-7 Tell me about your family (演習) 3. Unit-8 Communication 4. Unit-8 Communication (演習) 5. Unit-9 How are you feeling? 6. Unit-9 How are you feeling? (演習) 7. Review Unit 7-9 8. Unit-10 Memories 9. Unit-10 Memories (演習) 10. Unit-11 Talking about health 11. Unit-11 Talking about health (演習) 12. Unit-12 Mindset 13. Unit-12 Mindset 14. Review Units 10-12 後期のまとめ 15. 一年間の総まとめ
使用テキスト ・教材等	Speaking of People (南雲堂) 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業内での演習 : 20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	様々なシーンで使えるよう、英語では何と云えば良いのか、 どのように気持ちを伝えられるのか考え、練習しましょう。
履修に 当たっての 留意点	気持ちや要件をしっかりと伝えられるよう、必要な単語やフレーズを覚え、 演習の際には積極的に行動し、コミュニケーションをとってください。

科目名	インターンシップ（前期 210 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久（実務経験：ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年）
学科・学年	国際ホテル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテルでの現場実習を通して、 プロのホテルマンからホスピタリティマインドを学び、 ホテルに必要なチームワーク、おもてなしの精神を身につける。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(施設見学、部署説明) 2 ホテル研修 3 配属先オリエンテーション(業務説明、各部署の役割説明) 4 現場実習① 5 現場実習② 6 現場実習③ 7 現場実習④ 8 中間発表会 9 配属先オリエンテーション(業務説明、各部署の役割説明)② 10 現場実習⑤ 11 現場実習⑥ 12 現場実習⑦ 13 現場実習⑧ 14 最終発表会 15 インターンシップまとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	配属先の評価表をもとに 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	研修先の地域の特徴を調べる。
履修に 当たっての 留意点	業界に必要とされるマインドを研修の中でしっかり身につける。